

デジタルビデオエディター 取扱説明書

DVE771



- このたびはプロスペック デジタルビデオエディターをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
- 本製品を正しくご使用いただくために、この「取扱説明書」をよくお読みください。
- お読みになったあとは大切に保管してください。

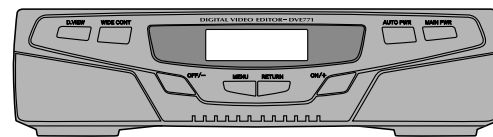
目次

はじめに	
梱包内容一覧 / 仕様	2
使用上の注意	3
各部の名称と説明 / リモコンの電池交換方法	4
ご使用方法 - 基本編 -	
電源を入れる	5
電源を切る	5
回路を通した映像を出力する / 回路を通さずに映像を出力する	6
ご使用方法 - 応用編 -	
特殊再生をおこなう	7~8
ご使用方法 - 上級編 -	
メニュー機能を使いこなす	9
メニュー項目の流れ	10
メニュー項目の説明	11~28
オートパワー設定	29~30
ワイド識別信号コントロール機能	31~32
データビュー機能	33~34
ハイブリッドレコーダー1台で編集する	35~37
全ての設定値を初期値に戻す	38
接続の前に	
接続に使用する端子の種類	38
接続のしかた - 基本編 -	
接続概要図	39~40
再生機器と本機を接続する	41
本機と録画機器を接続する	42
再生機器と録画機器の音声を接続する	43
電源を接続する	44
接続のしかた - 応用編 -	
ハイブリッドレコーダーへの接続	45~46
プレイステーション2/3への接続	47
ビデオ入力端子のあるパソコンへの接続	48
故障かな?と思ったら	
使用中のトラブルと回避方法	49
Q&A	50

はじめに

梱包内容一覧

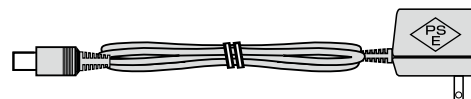
●DVE771本体 ×1



●コンパクトリモコン ×1



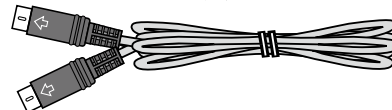
●ACアダプター ×1



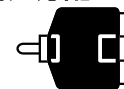
●ピン端子ケーブル(黄) ×1



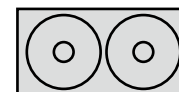
●S端子ケーブル(黒) ×1



●音声分配アダプター ×2



●滑り止めパッド(2個1組) ×2

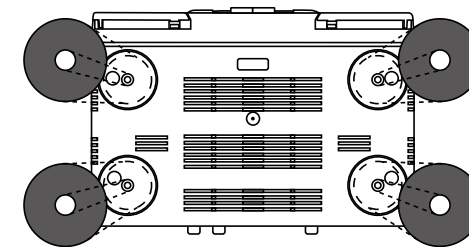


●ユーザー保証登録カード ×1

滑り止めパッドについて

DVE771本体底面に付属の滑り止めパッドを貼ることで、より安定した設置が可能です。

台紙から円形の滑り止めパッドを剥がし、左図のように貼り付けてください。



仕様

DVE771本体

- 消費電力：約4W以下
- 定格入力電圧：DC6V
- 本体材質：ABS樹脂
- 本体色：ピアノブラック
- スイッチ部：クロムメッキ
- 重量：約550g
- 許容動作温度：5~35℃
- 本体寸法：W219.5×D155×H59(mm)
- 映像入力：S端子×1系統 / ピン端子×1系統
- 映像出力：S端子×2系統 / ピン端子×2系統

ACアダプター

- 入力：AC100V 50/60Hz

- 出力：DC6V 600mA(+ - ⊕ -)

使用上の注意

安全のため必ずお守りください

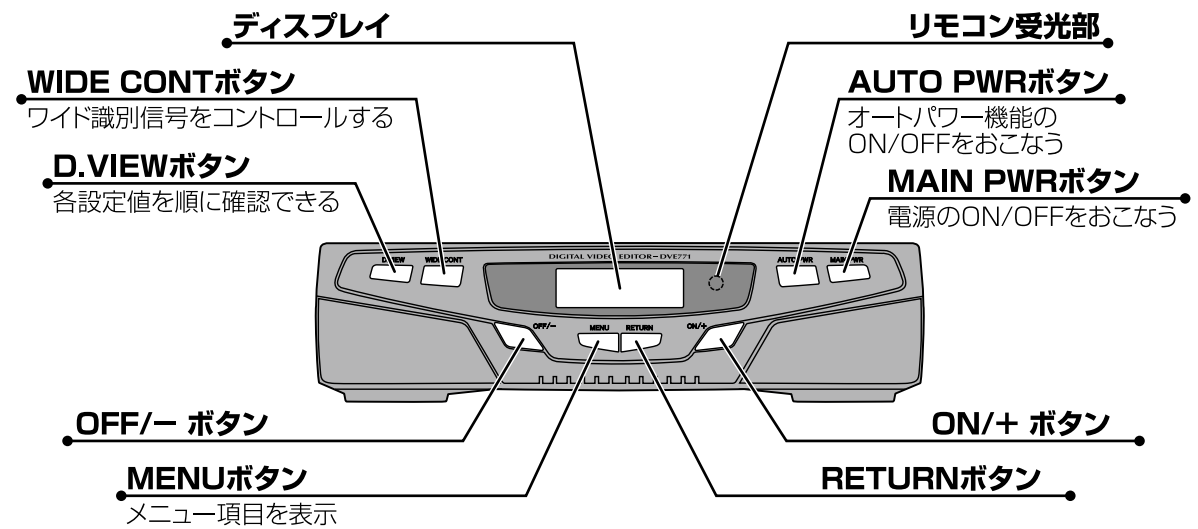
表示の意味は次の通りです。

🚫 禁止	禁止を表します
⚠️ 注意	守らないと傷害または家屋、家財などの損害に結びつく可能性があります
📌 重要	使用するうえで重要な事項を示します

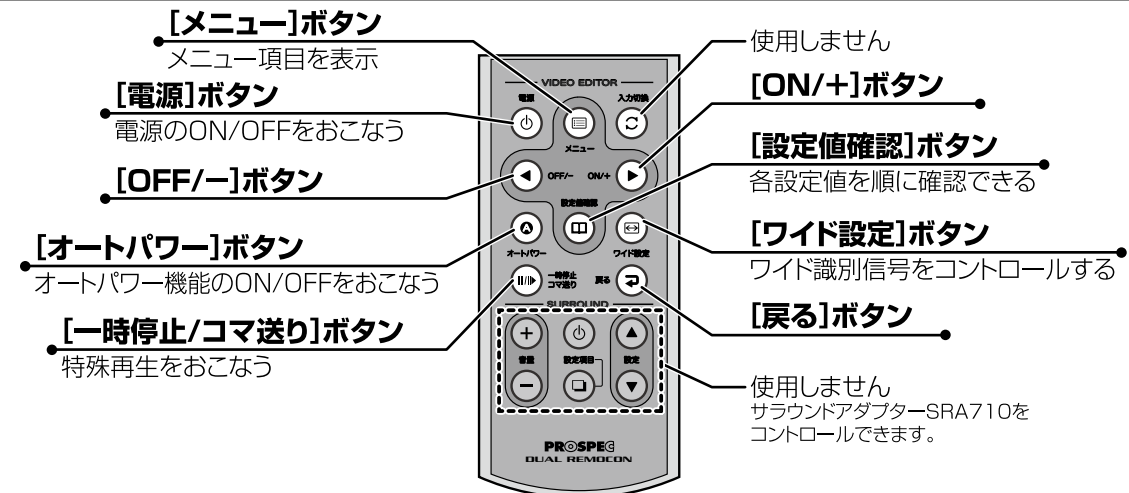
- 🚫 **禁止** 他人の著作物を無断で編集・録画することは禁止されております。著作権者に無断で編集・録画をおこなった場合、著作権を侵害することになりますので、十分ご注意ください。また、本製品を使用して編集・録画された映像、またはその複製物に関して、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 🚫 **禁止** 本製品は日本国内専用です。絶対に日本国外では使用しないでください。日本国外に持ち出された時点で保証対象外となります。
- 🚫 **禁止** 本機底面に貼付されている封印シールを剥がさないでください。剥がすと保証期間に関わらず、保証対象外となります。
- ⚠️ **注意** 必ず付属のACアダプターを使用してください。また、本製品はAC100V以外では絶対に使用しないでください。
- ⚠️ **注意** 本製品は精密機器です。強い衝撃を与えたり、高温・多湿・ホコリの多い場所・風通しの悪い場所・直射日光の当たる場所に置かないでください。故障や火災・感電の原因となります。
- 📌 **重要** 本製品で映像を合成することはできません。また、本製品に録画機能はありません。
- 📌 **重要** ダビングされたソフト・海賊版ソフト・すでにノイズが含まれたソフトなどを編集素材に使用した場合、映像を安定させる機能や画像調整機能などが正常に働かない場合があります。
- 📌 **重要** 本製品を使用したダビング時にごく稀に映像が乱れる場合があります。このような場合は再生機器と録画機器を入れ替えてみてください。
- 📌 **重要** ノイズリダクション機能はノイズを低減させる機能となり、完全にノイズを除去することはできません。また、ノイズリダクション機能を使用しますと処理上解像度が低下します。
- 📌 **重要** VHSでの3倍録画やDVD・HDDでの低レート録画によって劣化した映像を本製品で補正することはできません。
- 📌 **重要** 本製品で成人用ビデオなどのモザイク処理を除去することはできません。
- 📌 **重要** 本製品で不正視聴防止用スクランブル信号を除去することはできません。
- 📌 **重要** 本製品の画質補正能力を超えたビデオソースを編集すると、画質が低下する場合がありますのであらかじめご了承ください。
- 📌 **重要** 本製品は家庭用に設計されています。長時間の使用や高精度な画質補正を要する業務用には適しません。
- 📌 **重要** 水平解像度は映像の帯域を示します。解像度の低い映像はそのままの解像度で出力されます。
- 📌 **重要** 本体が多少熱を持つ場合がありますが故障ではありません。
- 📌 **重要** 本製品はNTSC(525i)規格のビデオ信号に対応しています。ハイビジョン画質での編集はできません。
- 📌 **重要** 検査・修理をご依頼の際は、必ず必要事項が全て記入された保証書を添えてお送りください。保証書が無い場合、検査・修理・その他の費用は全て有料となります。

各部の名称と説明

本体部



リモコン部



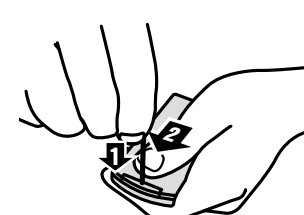
※各説明上の[]はリモコンのボタンを示します。

リモコンの電池交換方法

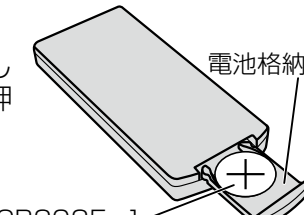
コイン型リチウム電池(CR2025)を1個使用

※誤ってお子様などが飲み込んでしまわないよう、電池のお取り扱いには十分ご注意ください。

① つまようじなど先のとがった棒を穴に差し込み、親指で棒を押します。



② 電池の+ - を正しく入れ、しっかり押し込みます。



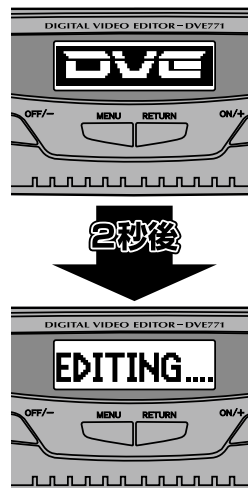
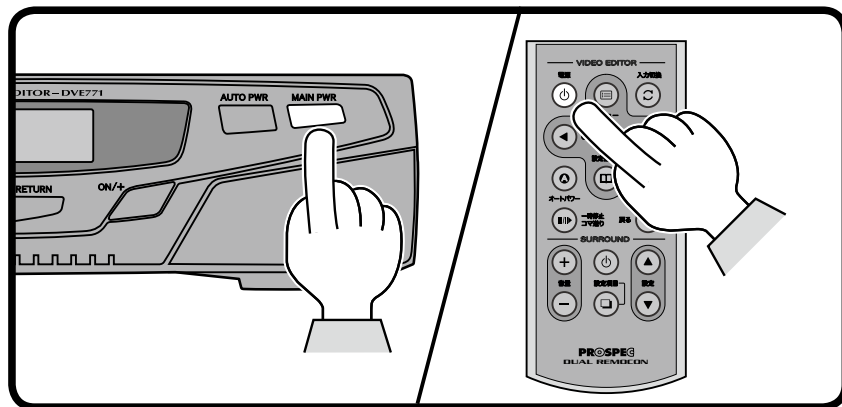
電池格納部
CR2025×1

ご使用方法 - 基本編 -

■ 電源を入れる

1 MAIN PWR [電源] ボタンを押す。

ディスプレイに「DVE」が2秒間表示されたあと、「EDITING....」が表示されます。

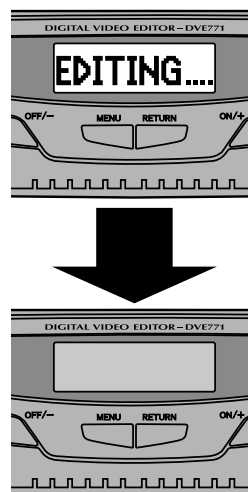
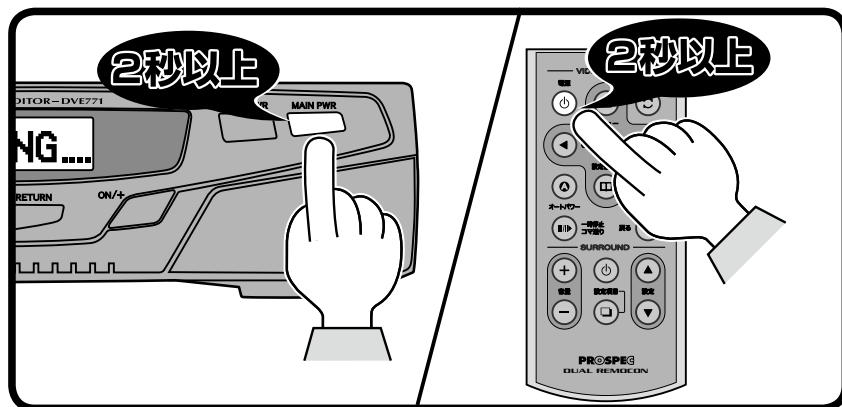


! ワンポイント

- ・電源が入ると「DVE」が2秒間表示されます。映像信号が入力されていないと、2秒以上経過しても「DVE」表示のままです。
- ・「EDITING....」表示中、4つの「....」が順に点灯します。
- ・電源が入っている時に万が一停電しても、停電復旧後自動的に電源が入ります(パワーガード機能)。

■ 電源を切る

1 MAIN PWR [電源] ボタンを2秒以上押す。



! ワンポイント

- ・MAIN PWR[電源] ボタンを押して電源を切ると、入力した映像がそのまま出力されます(▶▶ 6 ページ)。
- ・電源を切っても各種設定値は記憶されています。

■ 回路を通した映像を出力する

1 電源を入れる。

- 「電源を入れる」(▶▶ 5 ページ)を参照して本体の電源を入れてください。
電源を入れると入力したオリジナルの映像ソースにTBC効果を加えて出力されます。

特殊再生や各種映像補正をおこなうときも電源を入れてください。

■ 回路を通さずに映像を出力する

1 電源を切る。

- 「電源を切る」(▶▶ 5 ページ)を参照して本体の電源を切ってください。
電源を切ると入力したオリジナルの映像ソースがそのまま出力(スルー)されます。オリジナルの映像ソースに一切の効果を加えたくないときは電源を切ってください。
- 電源を切ると特殊再生や映像補正はできません。
- 映像信号を入力しているケーブルと出力しているケーブルの種類が異なる場合*は、映像が出力されません(映像信号をスルーできません)。

*入力側ピン端子ケーブルに対して出力側S端子ケーブル、入力側S端子ケーブルに対して出力側ピン端子ケーブル

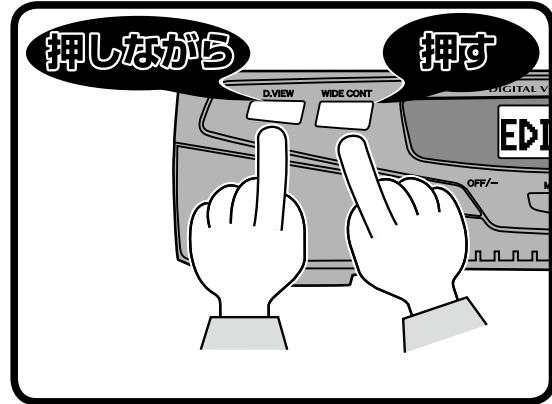
ご使用方法 - 応用編 -

必ず基本編をご理解頂いてからご使用ください

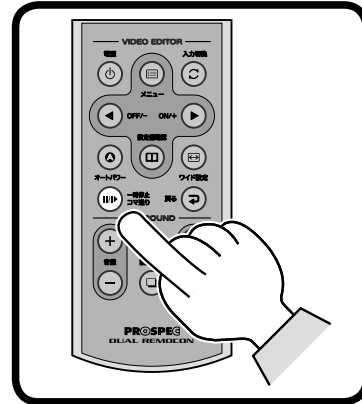
➡ D.VIEW ボタン+ WIDE CONT ボタンまたは
[一時停止/コマ送り]ボタン

■ 特殊再生をおこなう

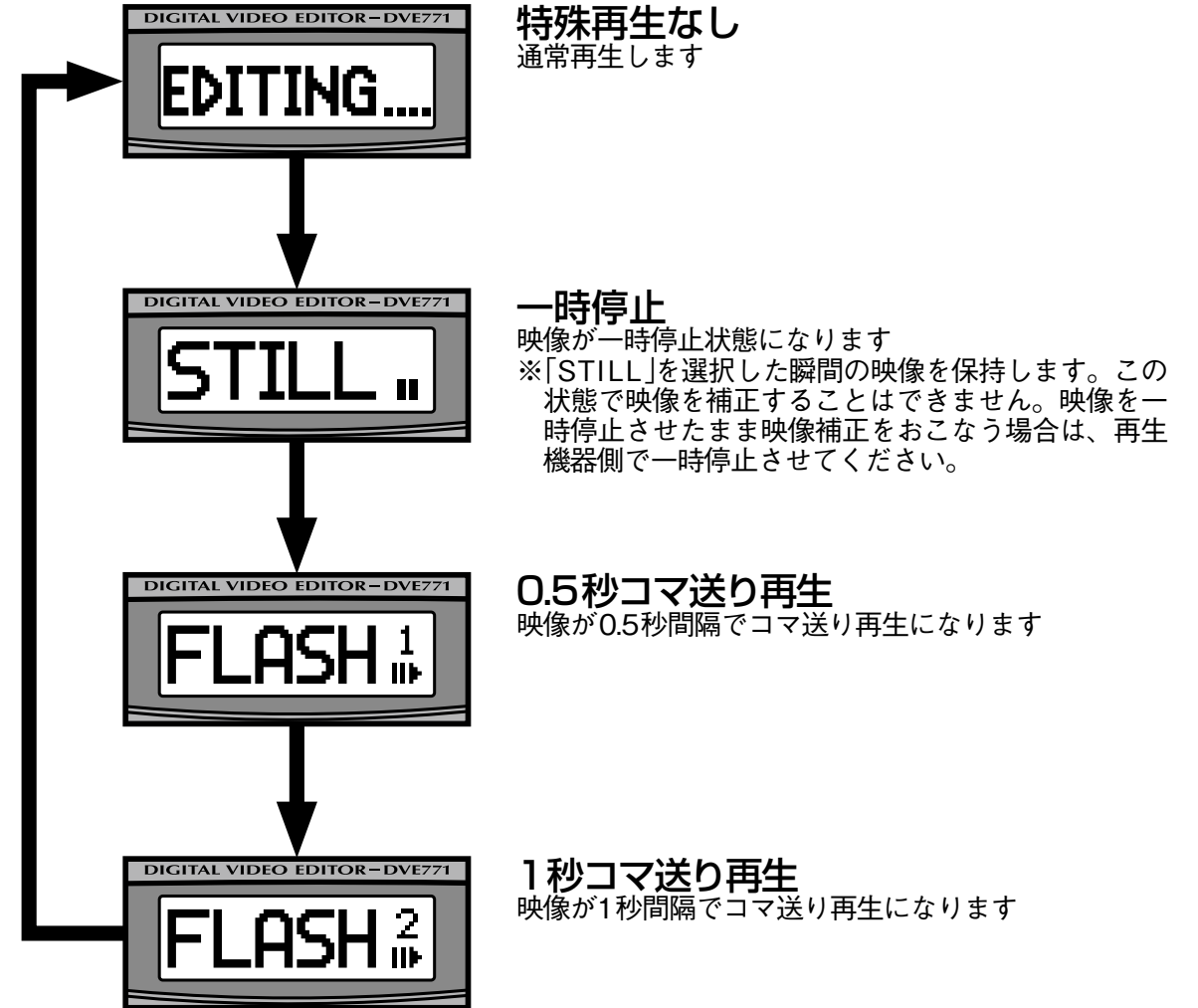
1 D.VIEWボタンを押しながら WIDE CONTボタンを押す。または
[一時停止/コマ送り]ボタンを押す。



または



2 同じ操作を繰り返すごとに「STILL 〳」→「FLASH 1 〳」→「FLASH 2 〳」の
順に切り替わる。



! ワンポイント

- ・電源を切っていると、特殊再生はできません。
- ・録画中に特殊再生をおこなうと、特殊再生状態のまま録画されます。
- ・特殊再生中に電源を切ると、特殊再生は解除されます。
- ・特殊再生中に他の操作をおこなうと、特殊再生は解除されます。

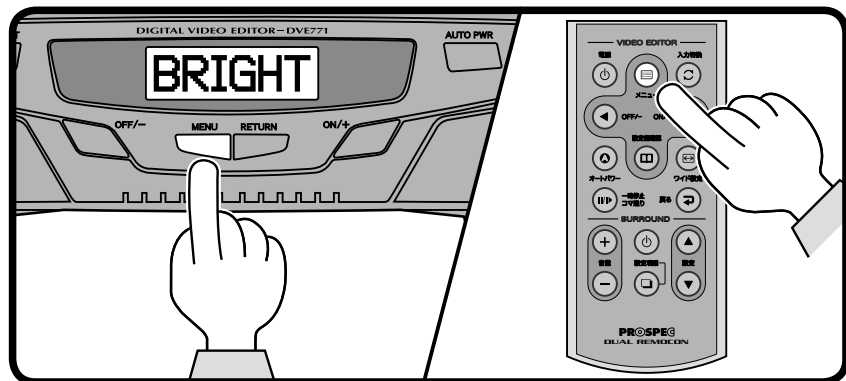
ご使用方法 - 上級編 -

必ず基本編・応用編をご理解頂いてからご使用ください

■ メニュー機能を使いこなす

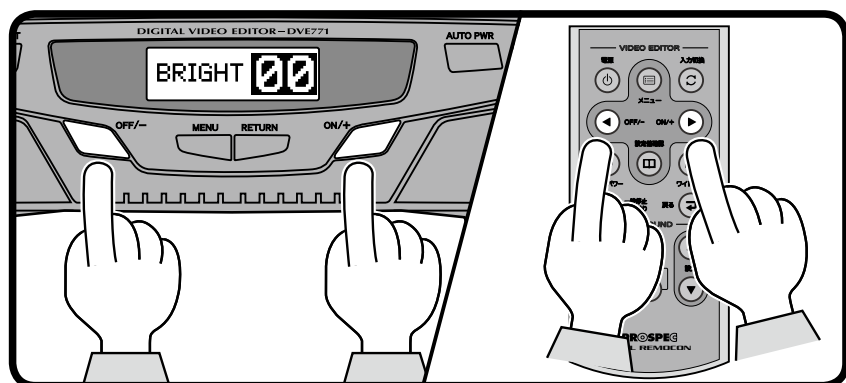
- 1 MENU[メニュー]ボタンを押すと、直前に選択していたメニュー項目が表示され、MENU[メニュー]ボタンを押すごとにメニュー項目が切り替わる。

例) 明るさ調整



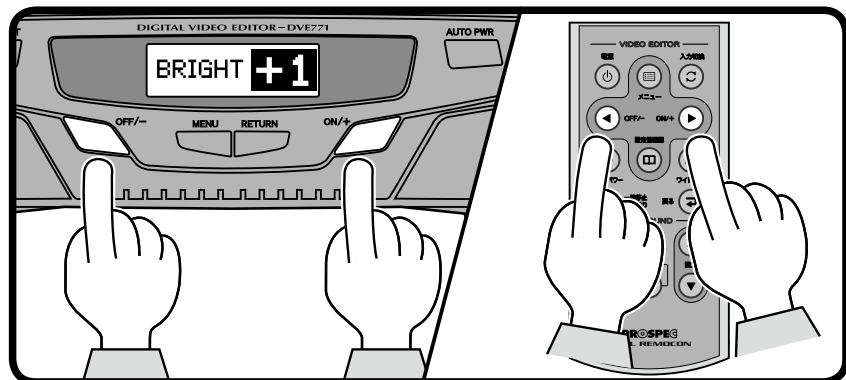
- 2 OFF/- [OFF/-] ボタンまたは ON/+ [ON/+] ボタンを押して、表示しているメニュー項目の設定モードに切り替える。

例) 明るさ調整



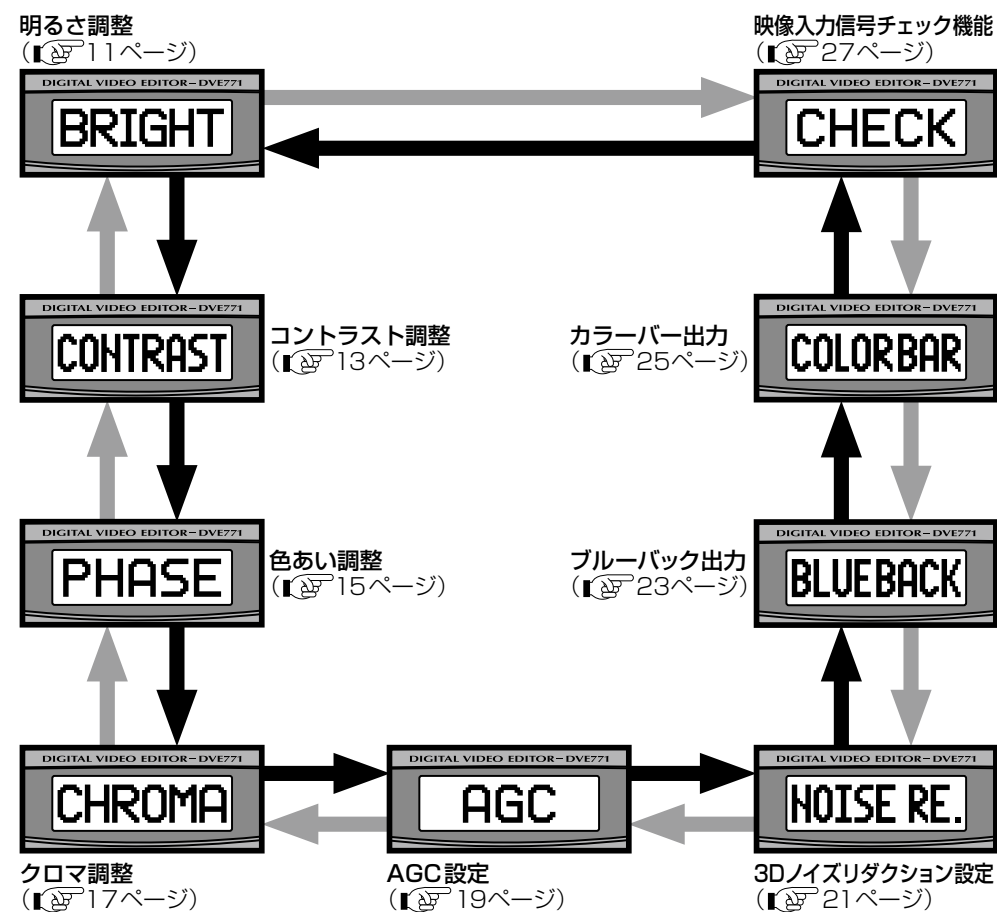
- 3 再度 OFF/- [OFF/-] ボタンまたは ON/+ [ON/+] ボタンを押して設定値を変更する。

例) 明るさ調整



■ メニュー項目の流れ

➡ MENU[メニュー]ボタン ➡ RETURN[戻る]ボタン



! ワンポイント

- 各設定値は電源を切ったりACアダプターを外しても記憶しています(メモリーガード機能)。
- 直前に選択していたメニュー項目は記憶されています。通常表示中にOFF/- [OFF/-] ボタンまたは ON/+ [ON/+] ボタンを押すことにより、直前に選択していたメニュー項目を表示、すぐに設定変更ができます。ただし、電源を切ってから再び電源を入れると、「BRIGHT」から始まります。
- ディスプレイにいずれかのメニュー項目が表示されているときに RETURN[戻る] ボタンを押すと、メニュー項目が逆回りに切り替わります。
- メニュー項目表示中にボタン操作をしない状態が5秒以上続くと、自動的に「EDITING...」(映像信号入力時)、または「DVE」(映像信号未入力時)表示に戻ります。
- 録画目的で入力した映像ソースをメニュー画面で調整した場合、調整された状態の映像が録画されます。

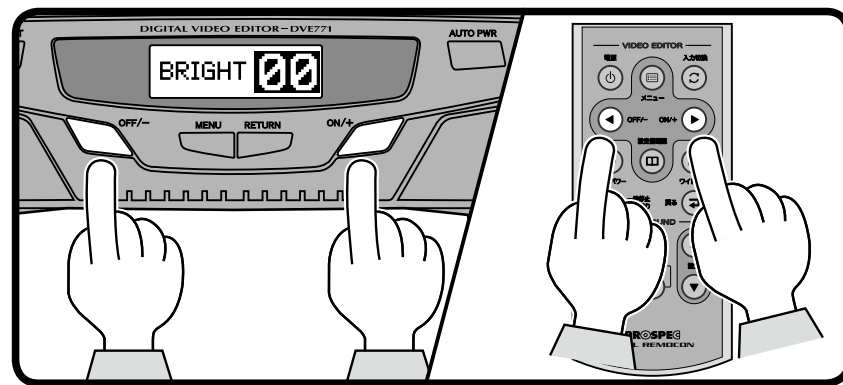
メニュー項目の説明

明るさ調整

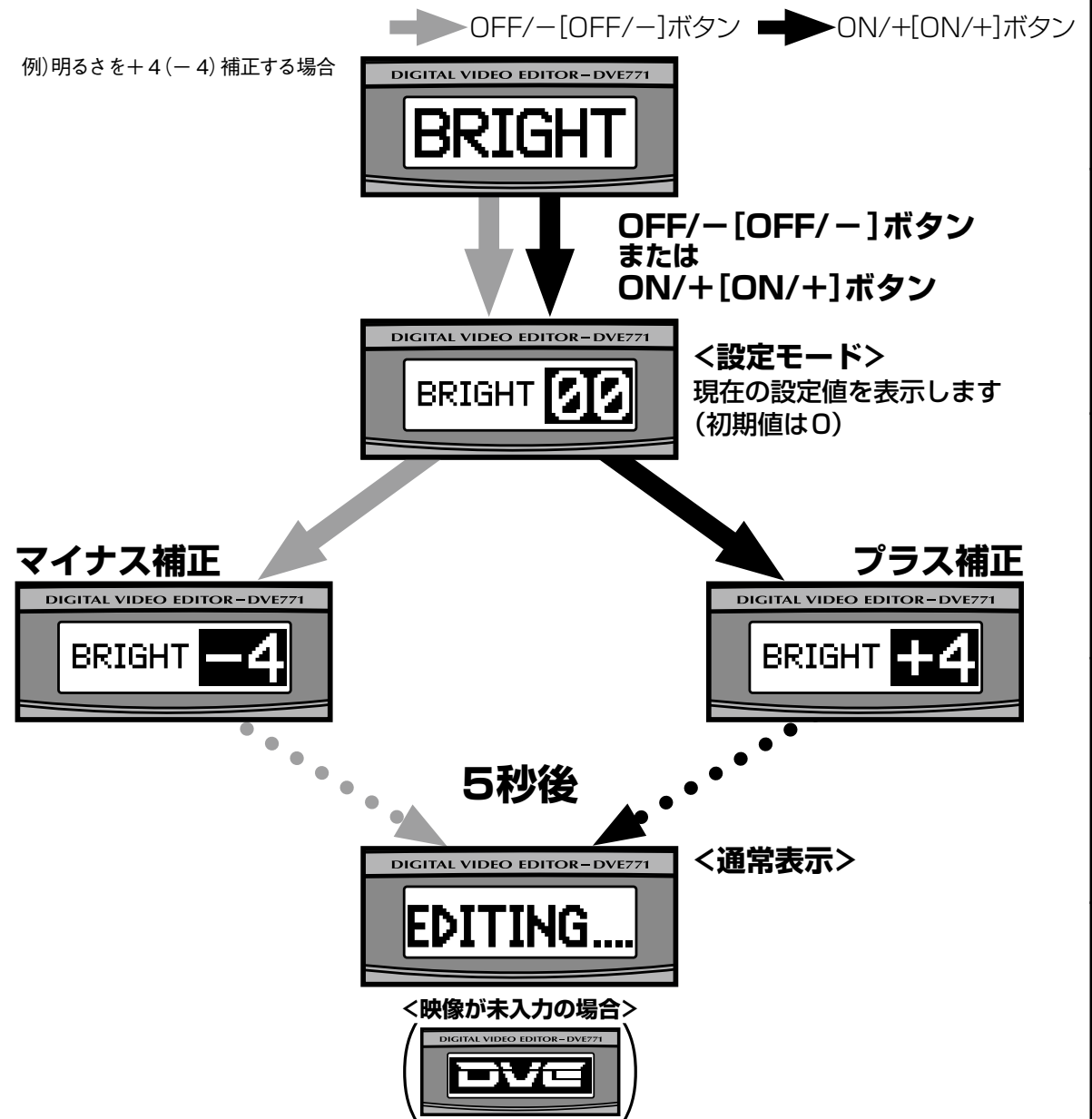
[初期値:0] [調整範囲:-4~+4]

1 「BRIGHT」を表示させる。(p.9~10 ページ)

2 OFF/-[OFF/-]ボタンまたは ON/+ [ON/+]ボタンを押すと、明るさの設定を変更できる。



- 効果 果：入力した映像の輝度を調整して出力します。
- 使用用途：暗すぎるまたは明るすぎる映像を最適な明るさに調整できます。
- 調整方法：プラス(+)側に調整すると全体的に明るくなっていきます。
マイナス(-)側に調整すると全体的に暗くなっていきます。



明るさ調整-4 の表示	明るさ調整なし の表示	明るさ調整+4 の表示
DIGITAL VIDEO EDITOR-DVE771 BRIGHT -4	DIGITAL VIDEO EDITOR-DVE771 BRIGHT 00	DIGITAL VIDEO EDITOR-DVE771 BRIGHT +4

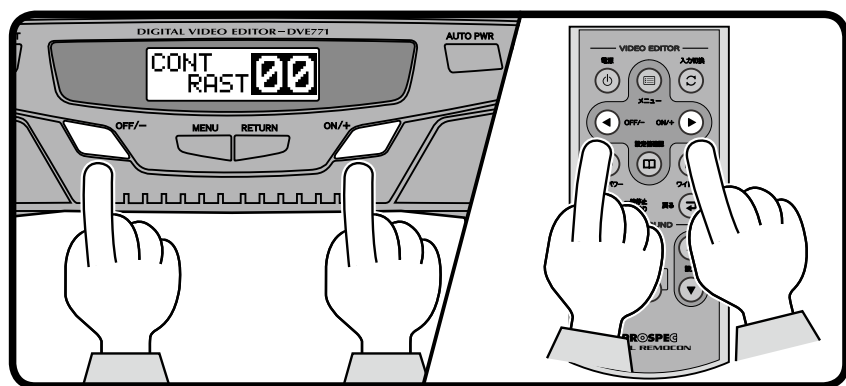
ご使用方法 - 上級編 -

必ず基本編・応用編をご理解頂いてからご使用ください

コントラスト調整

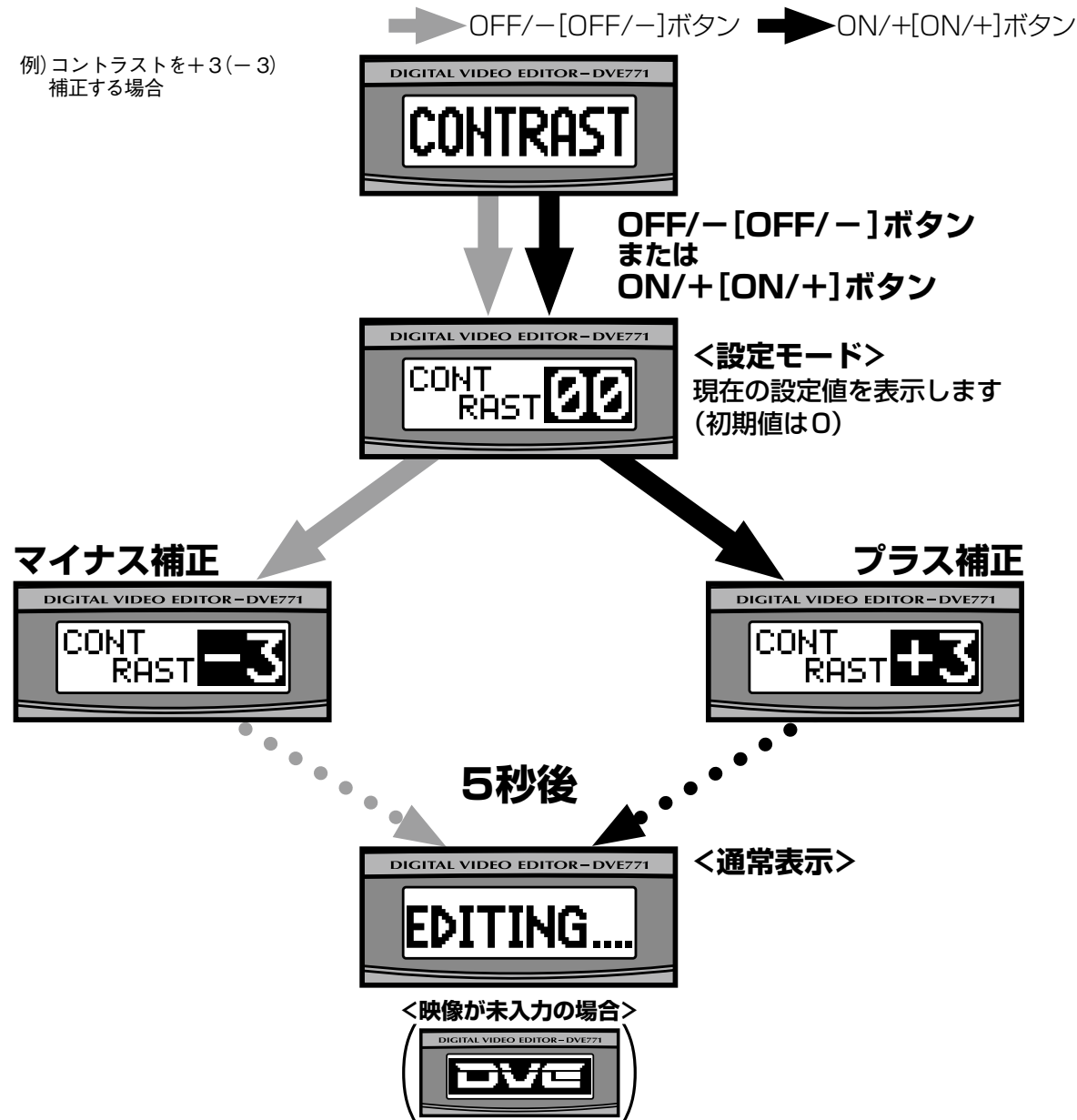
[初期値:0] [調整範囲:-4~+4]

- 1 「CONTRAST」を表示させる。(P.9~10 ページ)
- 2 OFF/−[OFF/−]ボタンまたは ON/+ [ON/+]ボタンを押すと、コントラストの設定を変更できる。



- 効果 果：入力した映像の明暗比を調整して出力します。
- 使用用途：暗い部分と明るい部分の差が大きくまぶしく見える場合や、暗い部分と明るい部分の境目が分かりにくい場合に見やすい映像に調整できます。
- 調整方法：プラス(+)側に調整すると明るい部分がより明るくなっていきます。マイナス(−)側に調整すると明るい部分が暗くなっていきます。

例) コントラストを+3(−3)補正する場合



コントラスト調整−3 の表示	コントラスト調整なし の表示	コントラスト調整+3 の表示

ご使用方法・基本編・

ご使用方法・応用編・

ご使用方法・上級編・

接続の前に

接続のしかた・基本編・

接続のしかた・応用編・

ご使用方法・基本編・

ご使用方法・応用編・

ご使用方法・上級編・

接続の前に

接続のしかた・基本編・

接続のしかた・応用編・

ご使用方法 - 上級編 -

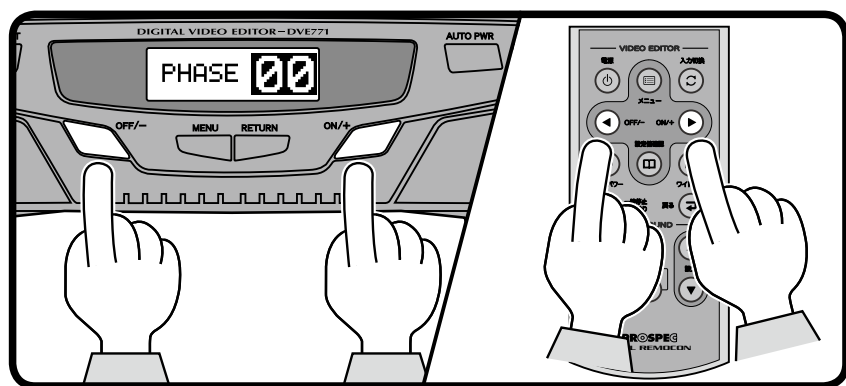
必ず基本編・応用編をご理解頂いてからご使用ください

色あい調整

【初期値:0】 【調整範囲:-4~+4】

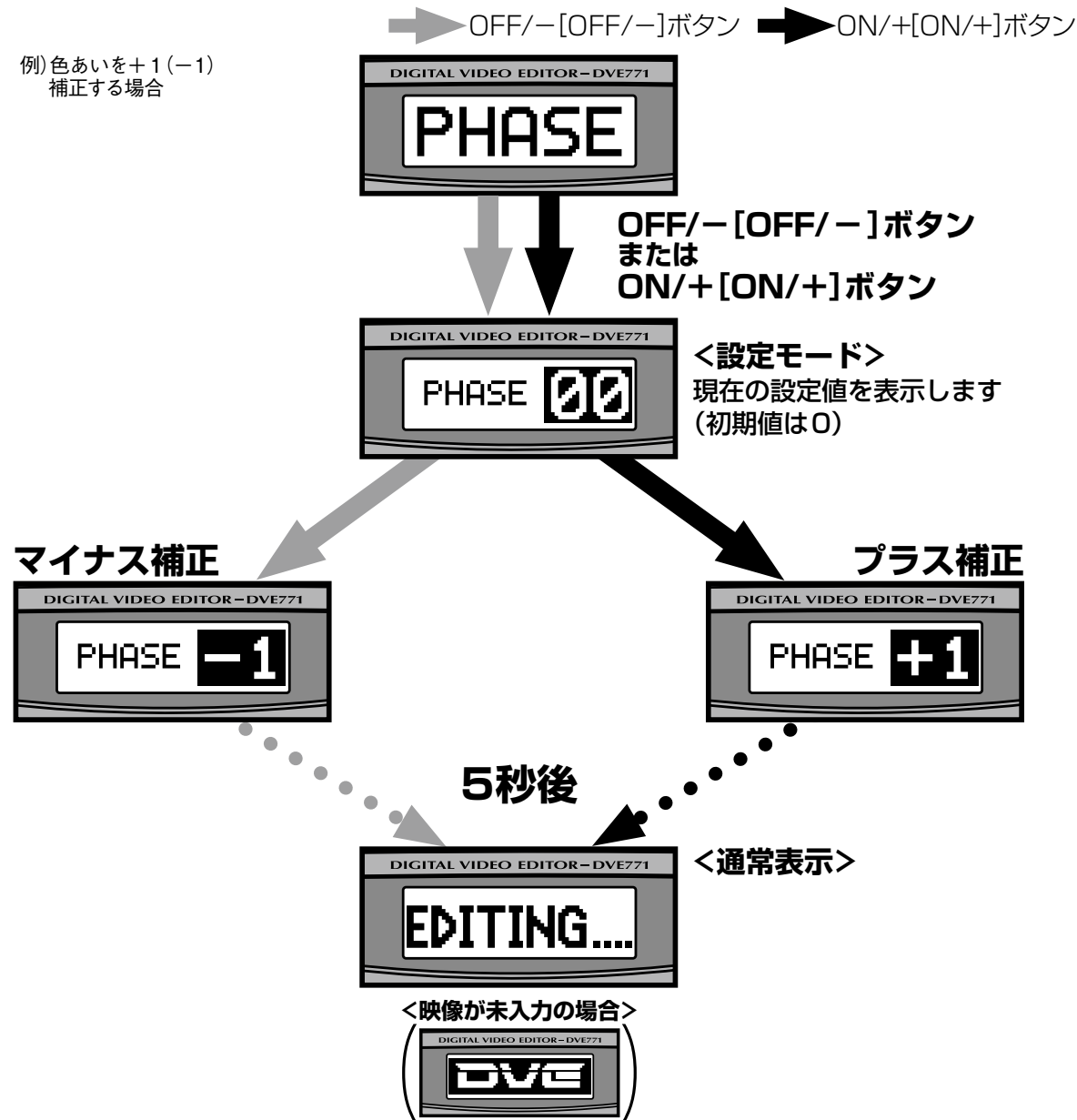
1 「PHASE」を表示させる。(P.9~10ページ)

2 OFF/−[OFF/−]ボタンまたはON/+ [ON/+]ボタンを押すと、色あいの設定を変更できる。



- 効果 果：入力した映像の色バランスを調整して出力します。
- 使用用途：人肌の色などが不自然な場合、自然な色に調整できます。
- 調整方法：プラス(+)側に調整すると全体的に赤色に近づいていきます。マイナス(-)側に調整すると緑色に近づいていきます。

例)色あいを+1 (-1)補正する場合



色あい調整-1 の表示	色あい調整なし の表示	色あい調整+1 の表示

ご使用方法・基本編・

ご使用方法・応用編・

ご使用方法・上級編・

接続の前に

接続のしかた・基本編・

接続のしかた・応用編・

ご使用方法・基本編・

ご使用方法・応用編・

ご使用方法・上級編・

接続の前に

接続のしかた・基本編・

接続のしかた・応用編・

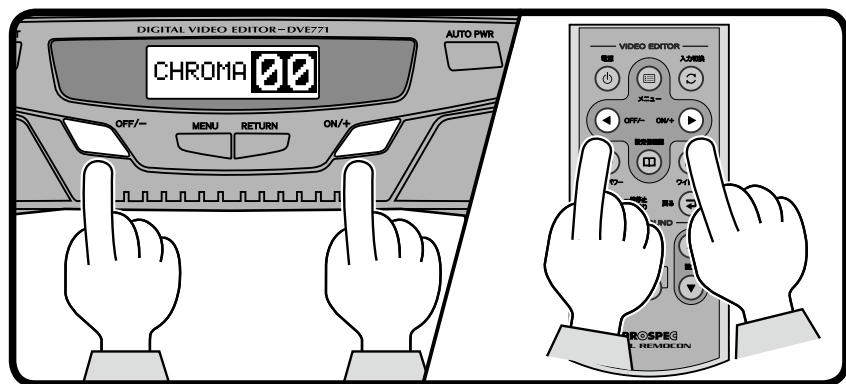
ご使用方法 - 上級編 -

必ず基本編・応用編をご理解頂いてからご使用ください

クロマ調整

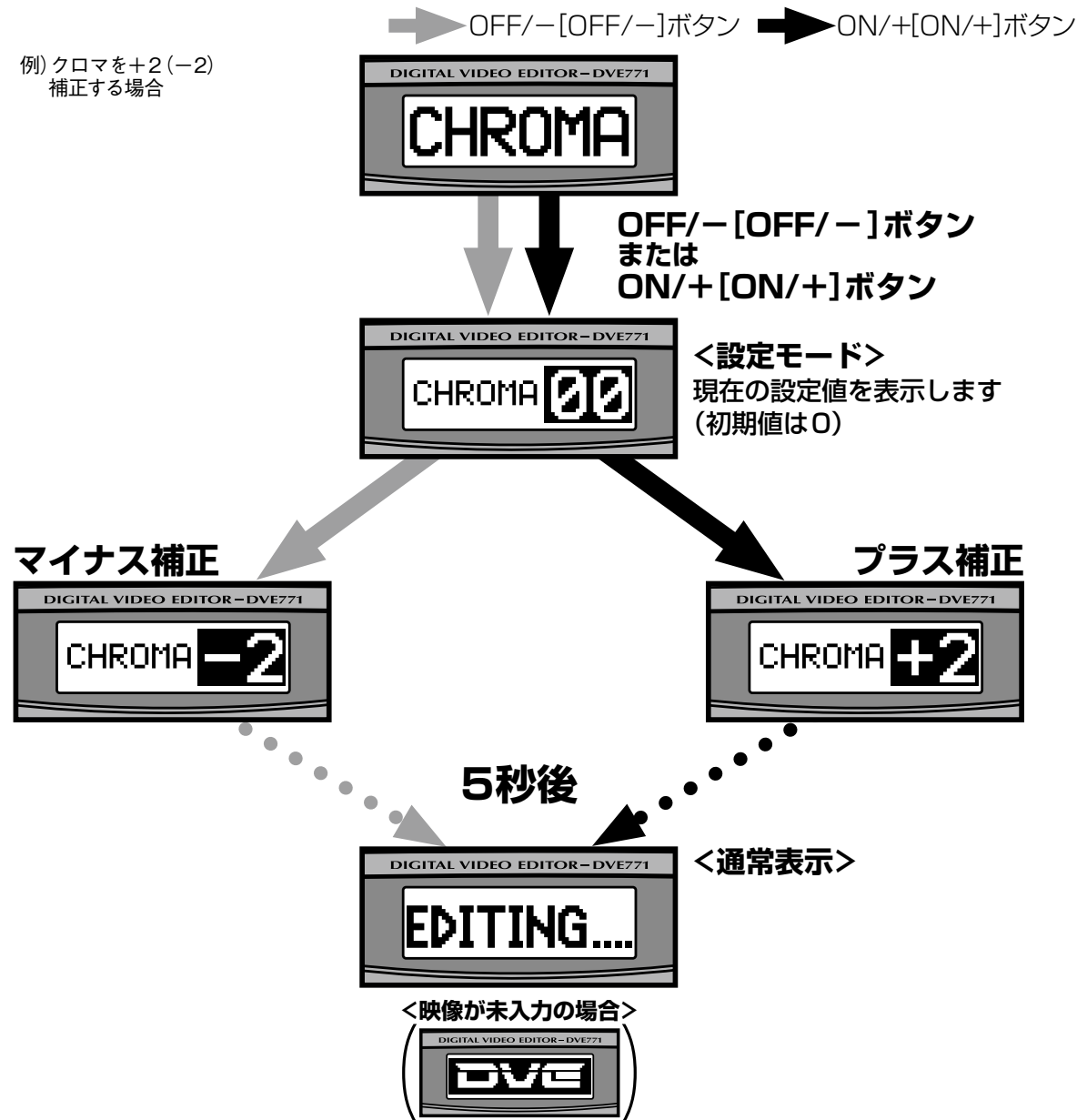
[初期値:0] [調整範囲:-4~+4]

- 1 「CHROMA」を表示させる。(p.9~10 ページ)
- 2 OFF/−[OFF/−]ボタンまたは ON/+ [ON/+]ボタンを押すと、色あいの設定を変更できる。



- 効果 果：入力した映像の色の濃さを調整して出力します。
- 使用用途：色あせた古いビデオテープの映像や色の濃すぎる映像の色濃度を調整できます。
- 調整方法：プラス(+)側に調整すると全体的に色が濃くなっていきます。
マイナス(−)側に調整すると色が薄くなるとともに白黒映像に近づいていきます。

例) クロマを+2 (−2) 補正する場合



クロマ調整−2 の表示	クロマ調整なし の表示	クロマ調整+2 の表示

ご使用方法・基本編・

ご使用方法・応用編・

ご使用方法・上級編・

接続の前に

接続のしかた・基本編・

接続のしかた・応用編・

ご使用方法・基本編・

ご使用方法・応用編・

ご使用方法・上級編・

接続の前に

接続のしかた・基本編・

接続のしかた・応用編・

ご使用方法 - 上級編 -

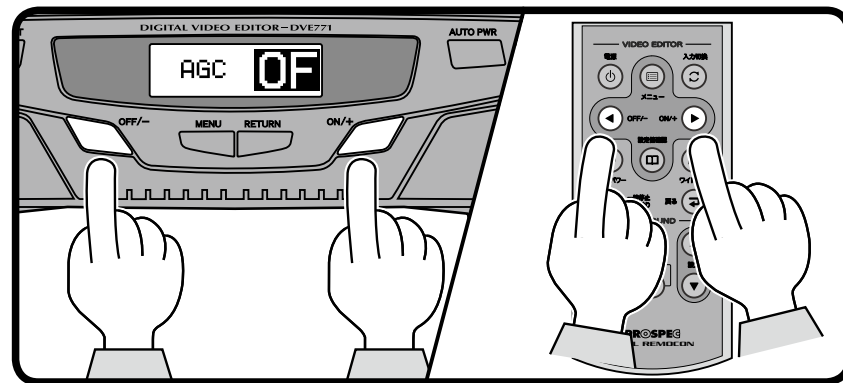
必ず基本編・応用編をご理解頂いてからご使用ください

AGC (オートゲインコントロール) 設定

【初期値:OFF】 【設定範囲:OFF/ON】

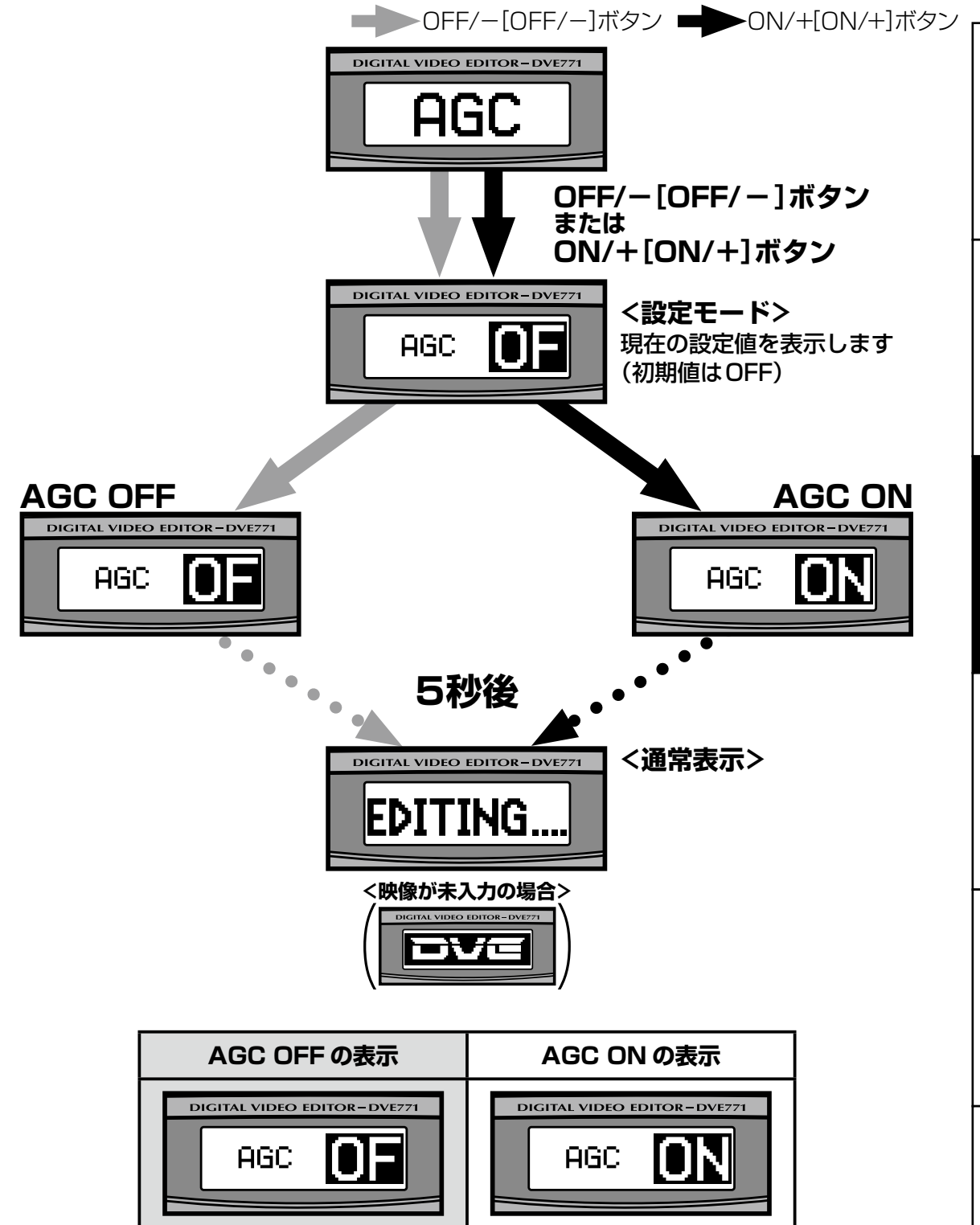
1 「AGC」を表示させる。(p.9~10 ページ)

2 OFF/−[OFF/−]ボタンまたは ON/+ [ON/+]ボタンを押すと、AGCの設定を変更できる。



- 効果 果：入力した映像信号を最適値に変換して出力します。
- 使用用途：入力した映像が明るすぎる、または暗すぎると感じた場合に使用します。
- 設定方法：「ON」に設定すると映像信号を自動調整します。
「OFF」に設定すると自動調整は起こりません。

※「ON」に設定すると、他の映像調整機能の効果が分かりにくくなる場合があります。



ご使用方法・基本編・

ご使用方法・応用編・

ご使用方法・上級編・

接続の前に

接続のしかた・基本編・

接続のしかた・応用編・

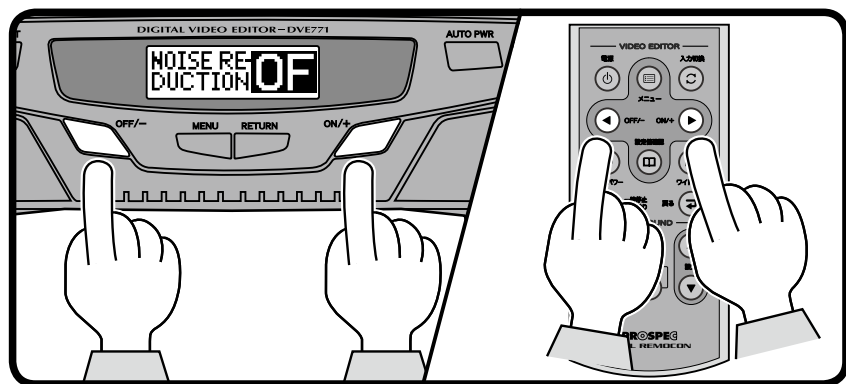
ご使用方法 - 上級編 -

必ず基本編・応用編をご理解頂いてからご使用ください

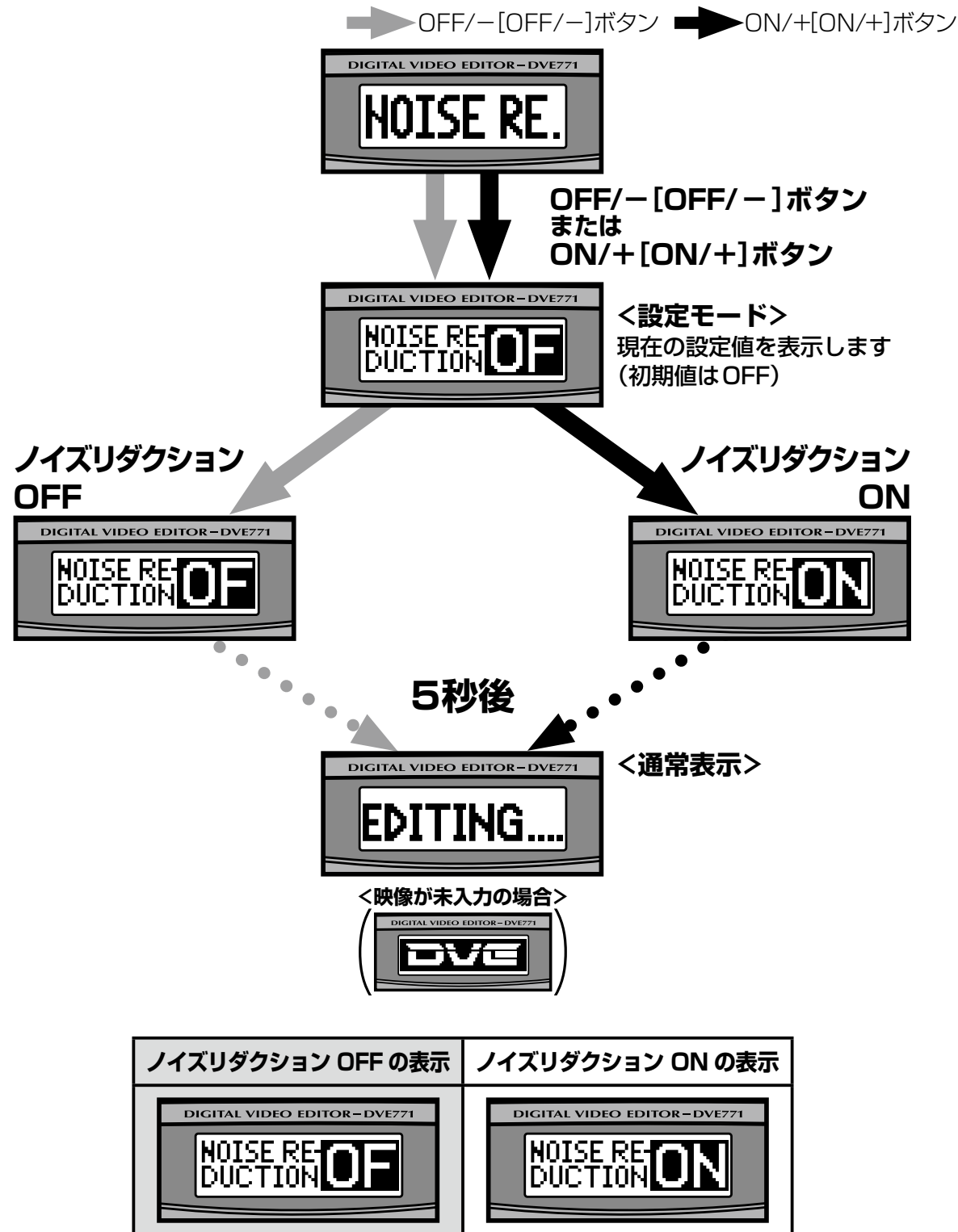
3Dノイズリダクション設定

【初期値:OFF】 【設定範囲:OFF/ON】

- 1 「NOISE RE.」を表示させる。(P.9~10 ページ)
- 2 OFF/−[OFF/−]ボタンまたは ON/+ [ON/+]ボタンを押すと、3Dノイズリダクションの設定を変更できる。



- 効果 果：主にVHS や8mmビデオなどアナログ映像に含まれている、ブロックノイズやざらつきノイズを低減します。
- 使用用途：アナログ映像の編集時にノイズが目立つ場合に使用します。
- 設定方法：「ON」に設定するとノイズ低減処理をおこなってから映像を出力します。「OFF」に設定するとノイズ低減処理をおこなわずにそのまま出力します。



ご使用方法・基本編・
ご使用方法・応用編・
ご使用方法・上級編・
接続の前に
接続のしかた・基本編・
接続のしかた・応用編・

ご使用方法・基本編・
ご使用方法・応用編・
ご使用方法・上級編・
接続の前に
接続のしかた・基本編・
接続のしかた・応用編・

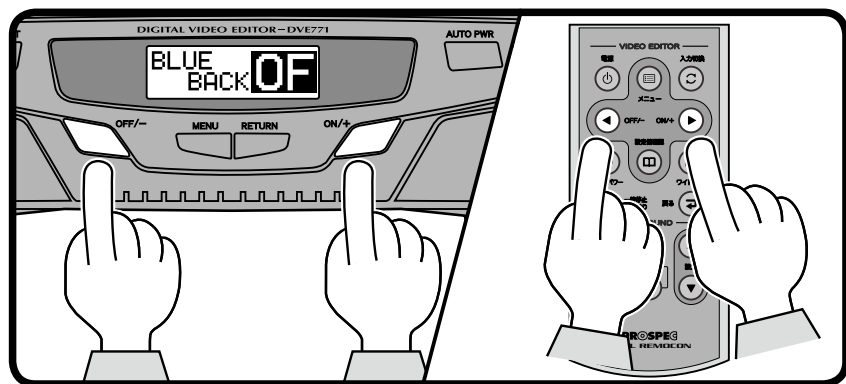
ご使用方法 - 上級編 -

必ず基本編・応用編をご理解頂いてからご使用ください

ブルーバック出力

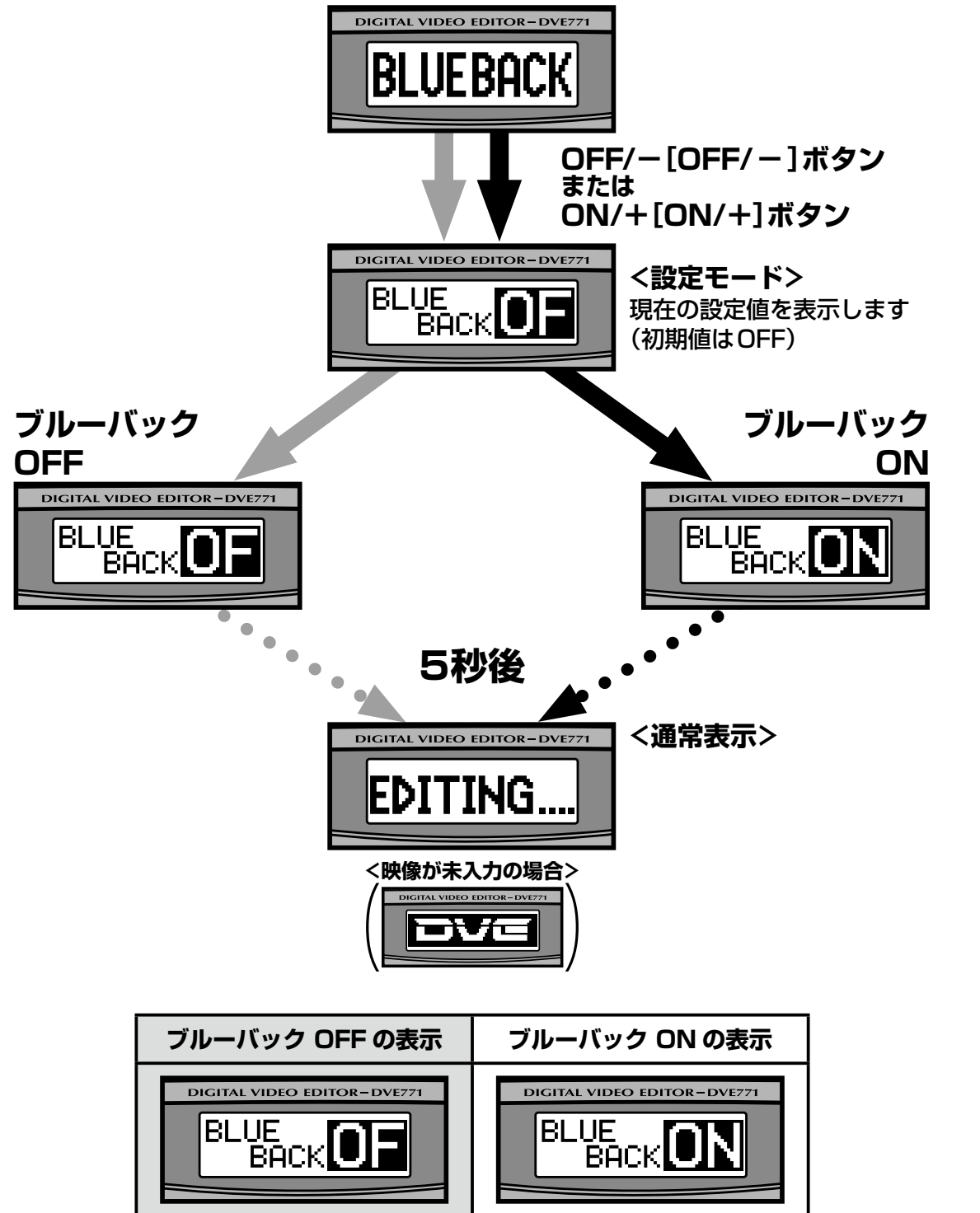
【初期値:OFF】 【設定範囲:OFF/ON】

- 1 「BLUEBACK」を表示させる。(p.9~10 ページ)
- 2 OFF/−[OFF/−]ボタンまたは ON/+ [ON/+]ボタンを押すと、ブルーバック出力の設定を変更できる。



- 効果 果：映像信号が入力されないときに、ブルーバック信号を出力するかしないかを選択できます。
- 使用用途：映像信号が入力されたときに自動的に録画を開始する録画機器(オート REC 対応録画機)を使用する際、「OFF」に設定します。
- 出力方法：「ON」に設定するとブルーバック信号を出力します。「OFF」に設定するとブルーバック信号を出力しません。

→ OFF/−[OFF/−]ボタン → ON/+ [ON/+]ボタン



ご使用方法・基本編・
ご使用方法・応用編・
ご使用方法・上級編・
接続の前に
接続のしかた・基本編・
接続のしかた・応用編・

ご使用方法・基本編・
ご使用方法・応用編・
ご使用方法・上級編・
接続の前に
接続のしかた・基本編・
接続のしかた・応用編・

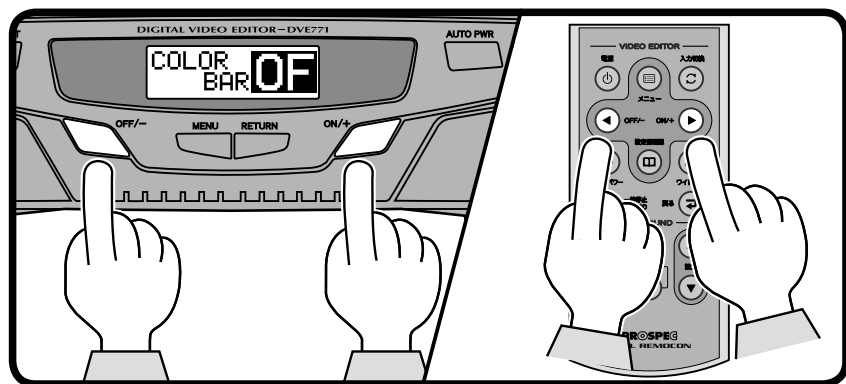
ご使用方法 - 上級編 -

必ず基本編・応用編をご理解頂いてからご使用ください

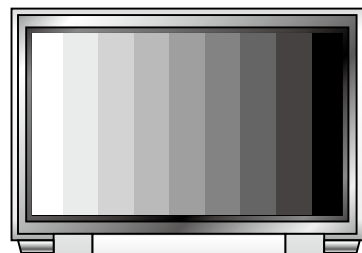
カラーバー出力

【初期値:OFF】 【設定範囲:OFF/ON】

- 1 「COLORBAR」を表示させる。(P.9~10 ページ)
- 2 OFF/−[OFF/−]ボタンまたは ON/+ [ON/+]ボタンを押すと、カラーバー出力の設定を変更できる。



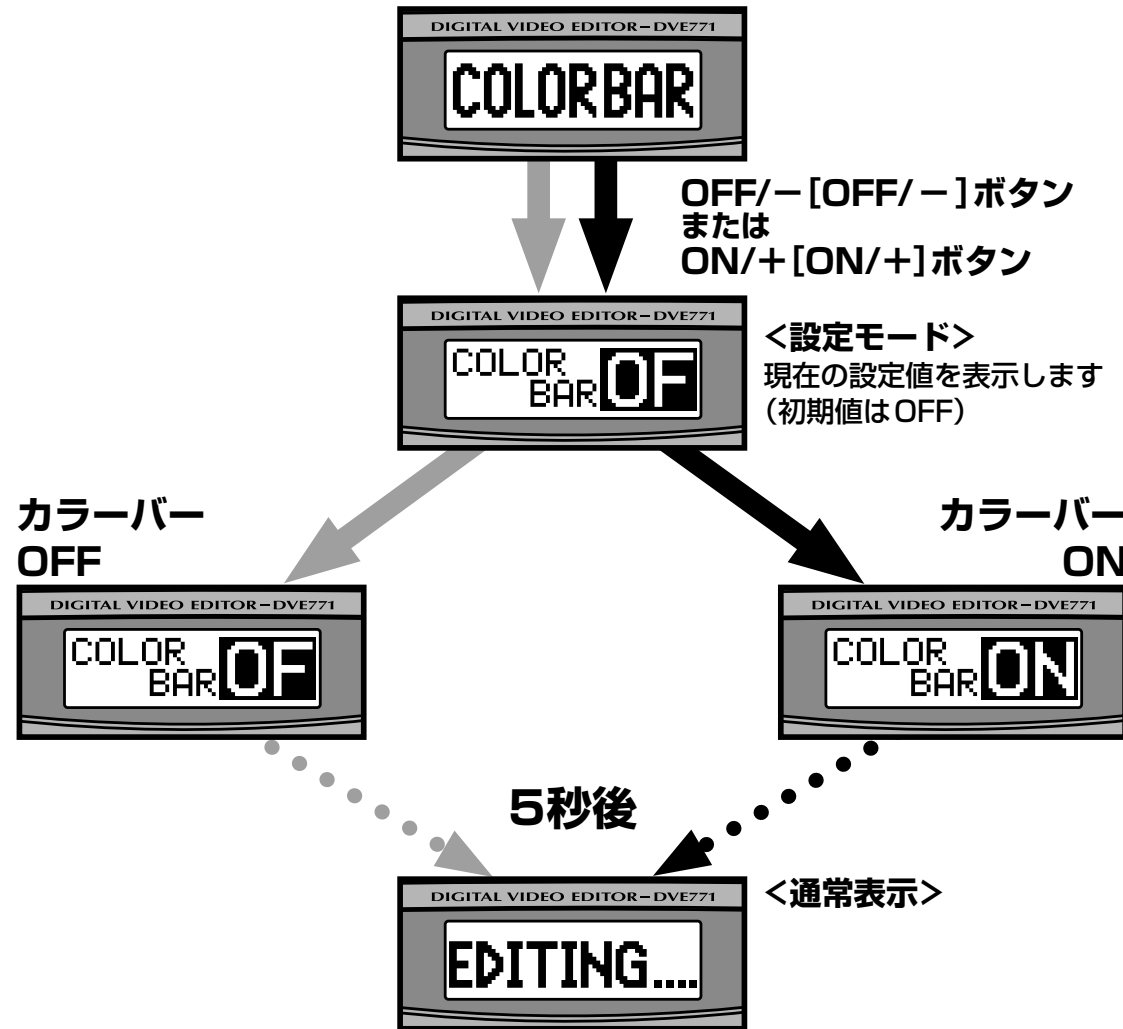
- 効果 果：カラーバー信号を出力します。
- 使用用途：モニターの色調整の際に表示させて使用します。録画するときに最初の5秒間ほど録画しておくと、モニターを変えたときに色調整の基準にできます。
- 出力方法：「ON」に設定するとカラーバー信号を出力します。
「OFF」に設定するとカラーバー信号を出力しません。



！ワンポイント

・カラーバー出力中に他のスイッチを押したり電源を切ったりすると、自動的にカラーバー出力がOFFになります。

→ OFF/−[OFF/−]ボタン → ON/+ [ON/+]ボタン



カラーバー OFF の表示	カラーバー ON の表示

ご使用方法・基本編・
ご使用方法・応用編・
ご使用方法・上級編・
接続の前に
接続のしかた・基本編・
接続のしかた・応用編・

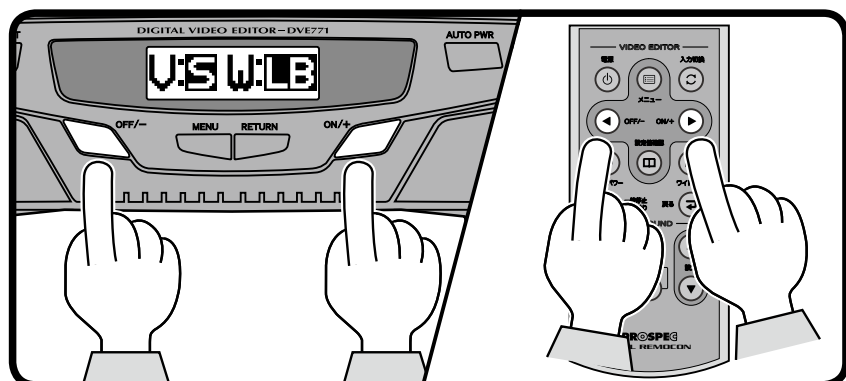
ご使用方法・基本編・
ご使用方法・応用編・
ご使用方法・上級編・
接続の前に
接続のしかた・基本編・
接続のしかた・応用編・

ご使用方法 - 上級編 -

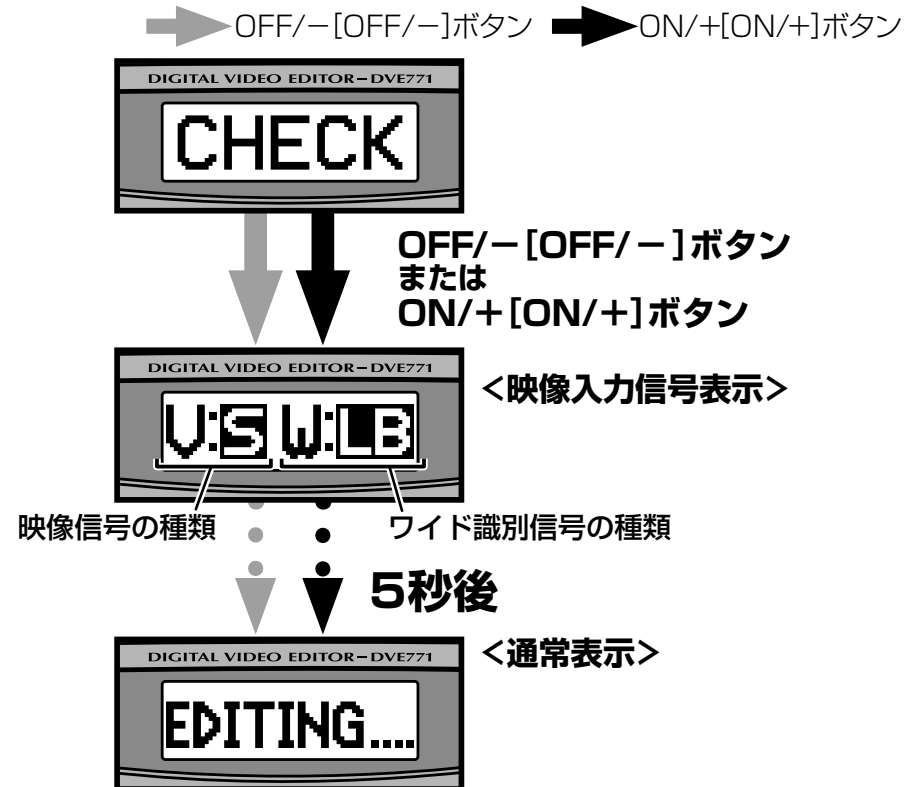
必ず基本編・応用編をご理解頂いてからご使用ください

映像入力信号チェック機能

- 1 「CHECK」を表示させる。(p.9~10 ページ)
- 2 OFF/−[OFF/−]ボタンまたは ON/+ [ON/+]ボタンを押すと、入力している映像信号の種類とワイド識別信号の種類を表示する。



- 効果 果：現在入力している映像信号の種類およびワイド識別信号の種類を確認できます。
- 使用用途：現在入力している映像信号の種類およびワイド識別信号の種類を確認したいときに使用します。



映像信号		
S端子(セパレート信号)入力の表示	ピン端子(コンポジット信号)入力の表示	映像入力信号がない時の表示

ワイド識別信号		
レターボックス信号の表示	スクイーズ信号の表示	ワイド識別信号がない時の表示

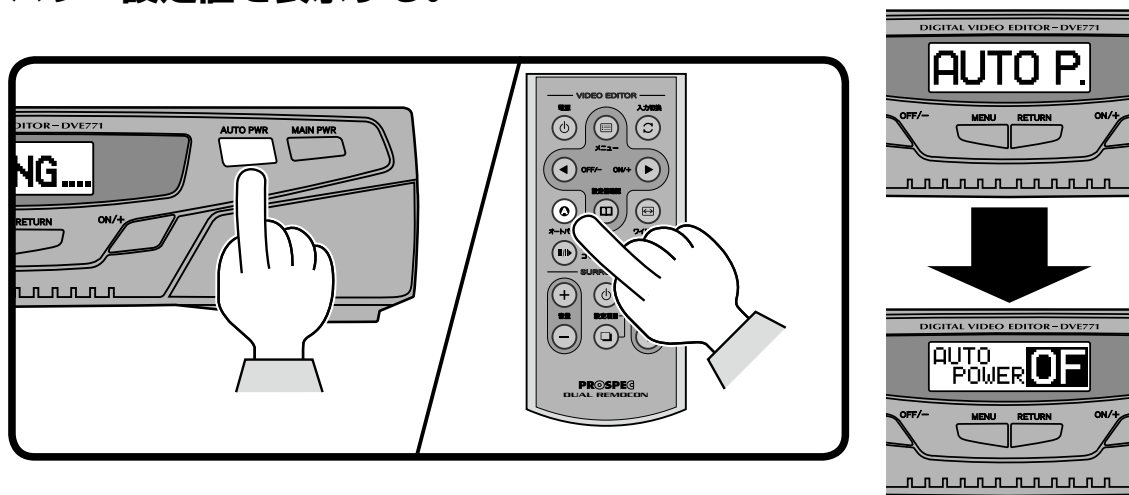
ご使用方法 - 上級編 -

必ず基本編・応用編をご理解頂いてからご使用ください

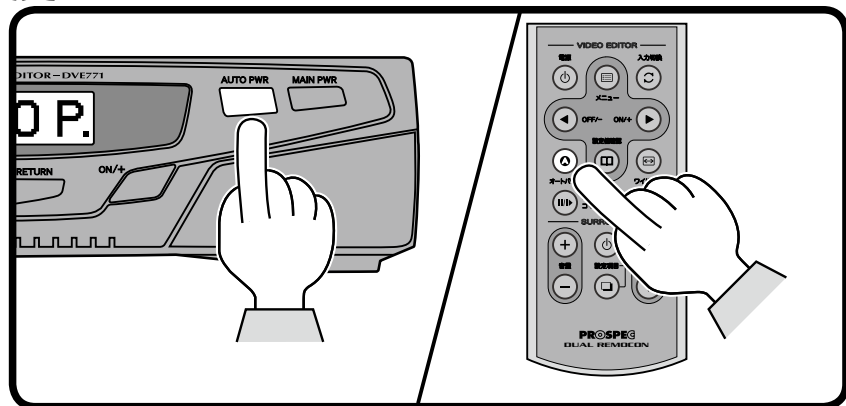
オートパワー設定

【初期値:OFF】 【設定範囲:OFF/ON】

- 1** AUTO PWR[オートパワー]ボタンを押して「AUTO P.」を表示させ、もう一度AUTO PWR[オートパワー]ボタンを押すと、現在のオートパワー設定値を表示する。



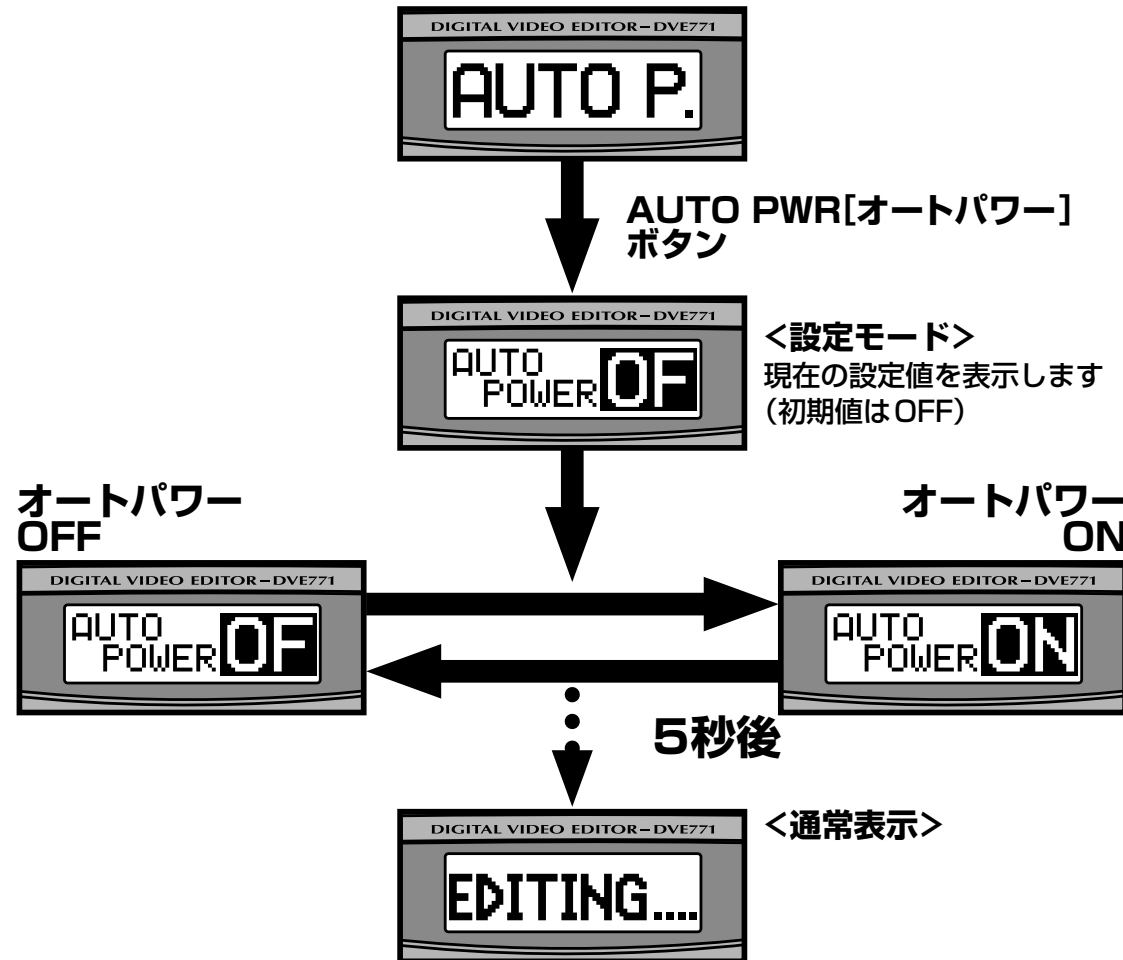
- 2** AUTO PWR[オートパワー]ボタンを押すごとに、オートパワーの設定を変更できる。



- 効果：映像信号を入力すると自動的に電源が入り、映像信号が入力されなくなると自動的に電源が切れます。(条件：ACアダプター接続)
- 使用用途：主に録画機のオートREC機能[※]使用時に使用します。
- 出力方法：「ON」に設定すると映像信号を入力したと同時に自動的に電源が入り、映像信号が入力されなくなると自動的に電源が切れます。
「OFF」に設定すると映像信号を入力しても自動的に電源は入りません。

※映像信号を入力すると自動的に録画を開始するレコーダーの機能

→AUTO PWR[オートパワー]ボタン



オートパワーON設定後の動作

- 再生機器の電源を切る。
- 本機のMAIN PWR[電源]ボタンを押して、電源を切る。
- ディスプレイが消灯し、「wait」が順に点灯することを確認する。
- 再生機器の電源が入ると本機の電源も連動して入り、再生機器の電源が切れると③の状態に戻る。



！ワンポイント

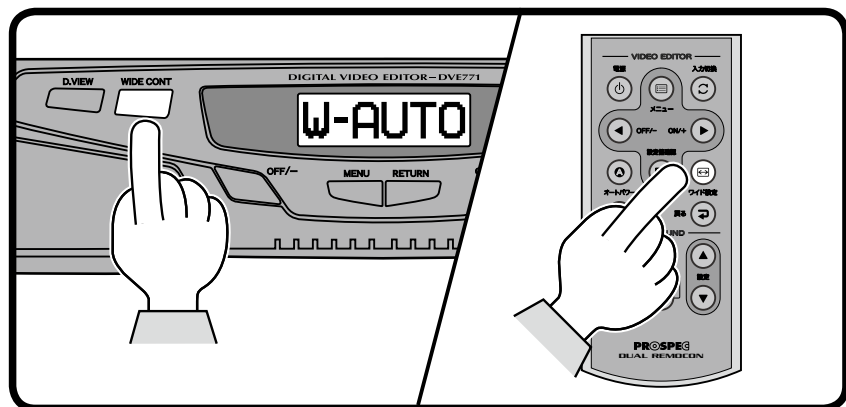
- ・ACアダプターは接続しておいてください。
- ・映像が入力されてから本機の動作が開始されるまでに約2秒かかります。
- ・オートパワー機能をONにした状態で、映像を入力したままMAIN PWR[電源]ボタンを押しても電源は切れません(オートパワー機能が働いているため)。

ご使用方法 - 上級編 -

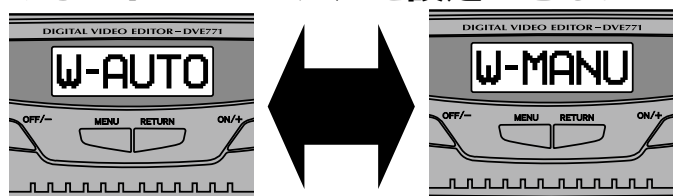
必ず基本編・応用編をご理解頂いてからご使用ください

ワイド識別信号コントロール機能

1 WIDE CONT[ワイド設定]ボタンを押すと、現在のワイド識別信号コントロールの設定を表示する。



2 WIDE CONT[ワイド設定]ボタンを押すごとに、ワイド識別信号出力コントロールのオート/マニュアルを設定できる。



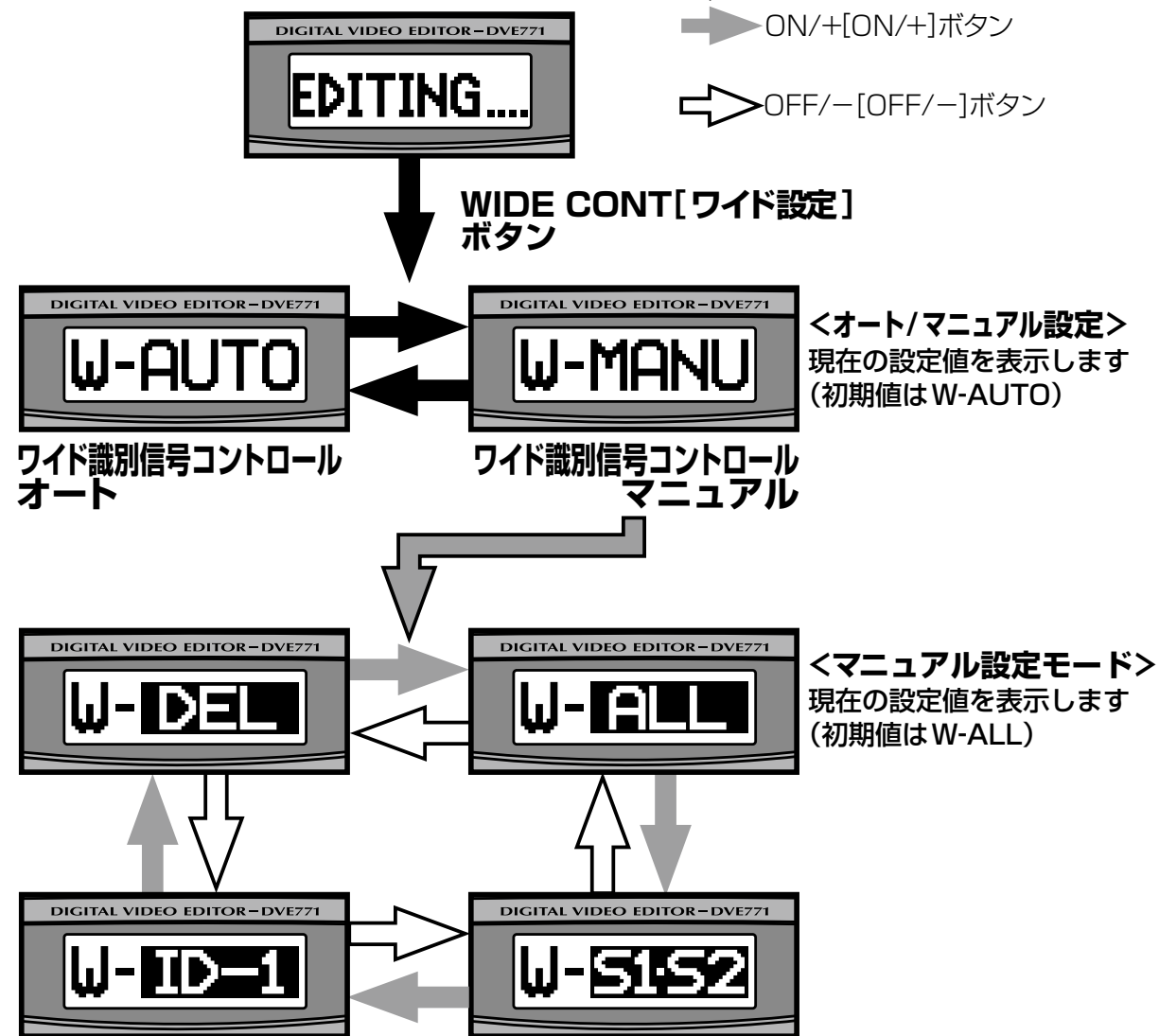
3 マニュアルに設定した場合、OFF/−[OFF/−]ボタンまたはON/+ [ON/+]ボタンを押すと、出力するワイド識別信号を変更できる。

- 効果：ワイド識別信号の出力方法を選択します。
- 使用用途：通常の使用では「W-AUTO」（オート）、ワイド識別信号をマニュアル出力する場合は「W-MANU」（マニュアル）に設定します。
- 出力方法：「オート」に設定すると、入力されたワイド識別信号をそのまま出力します(ワイド識別信号が入力されない場合はワイド識別信号を出力しません)。
「マニュアル」に設定すると、出力するワイド識別信号を選択できます。
「W-ALL」に設定すると、全てのワイド識別信号(S1/S2/ID-1)を出力します。
「W-S1S2」に設定すると、ワイド識別信号S1・S2を出力します。
「W-ID-1」に設定すると、ワイド識別信号ID-1を出力します。
「W-DEL」に設定すると、入力したワイド識別信号を除去します。

！ワンポイント

- ・録画機またはテレビが特定のワイド識別信号のみを認識する場合や、入力したワイド識別信号が録画機またはテレビが認識できるワイド識別信号と一致しない場合に、特定のワイド識別信号を選択して出力するよう設定します。
- ・ワイド識別信号を含んだ映像では高速ダビングができない機種で高速ダビングをおこないたいとき、ワイド識別信号を除去すれば高速ダビングが可能になります。

- ➡ WIDE CONT[ワイド設定]ボタン
- ➡ ON/+ [ON/+]ボタン
- ⇨ OFF/− [OFF/−]ボタン



ワイド識別信コントロール オートの表示	ワイド識別信コントロール マニュアルの表示
DIGITAL VIDEO EDITOR-DVE771 W-AUTO	DIGITAL VIDEO EDITOR-DVE771 W-MANU

ID-1/S1/S2 出力の表示	S1/S2 出力の表示	ID-1 出力の表示	入力ワイド識別信号除去の表示
DIGITAL VIDEO EDITOR-DVE771 W-ALL	DIGITAL VIDEO EDITOR-DVE771 W-S1S2	DIGITAL VIDEO EDITOR-DVE771 W-ID-1	DIGITAL VIDEO EDITOR-DVE771 W-DEL

ご使用方法・基本編・

ご使用方法・応用編・

ご使用方法・上級編・

接続の前に

接続のしかた・基本編・

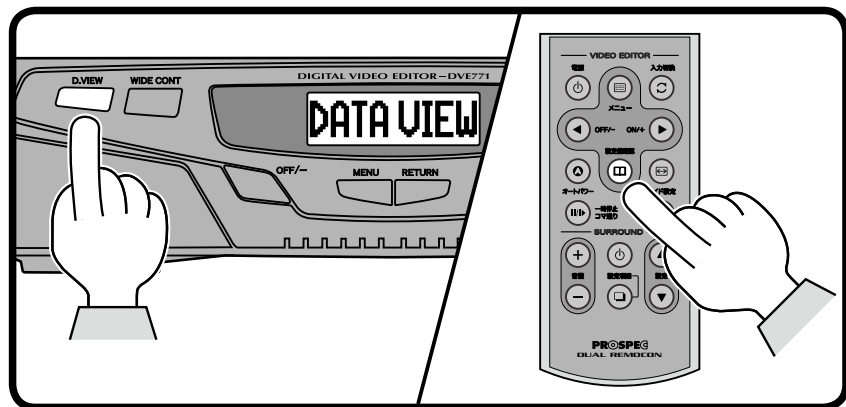
接続のしかた・応用編・

ご使用方法 - 上級編 -

必ず基本編・応用編をご理解頂いてからご使用ください

データビュー機能

1 D.VIEW[設定値確認]ボタンを押す。

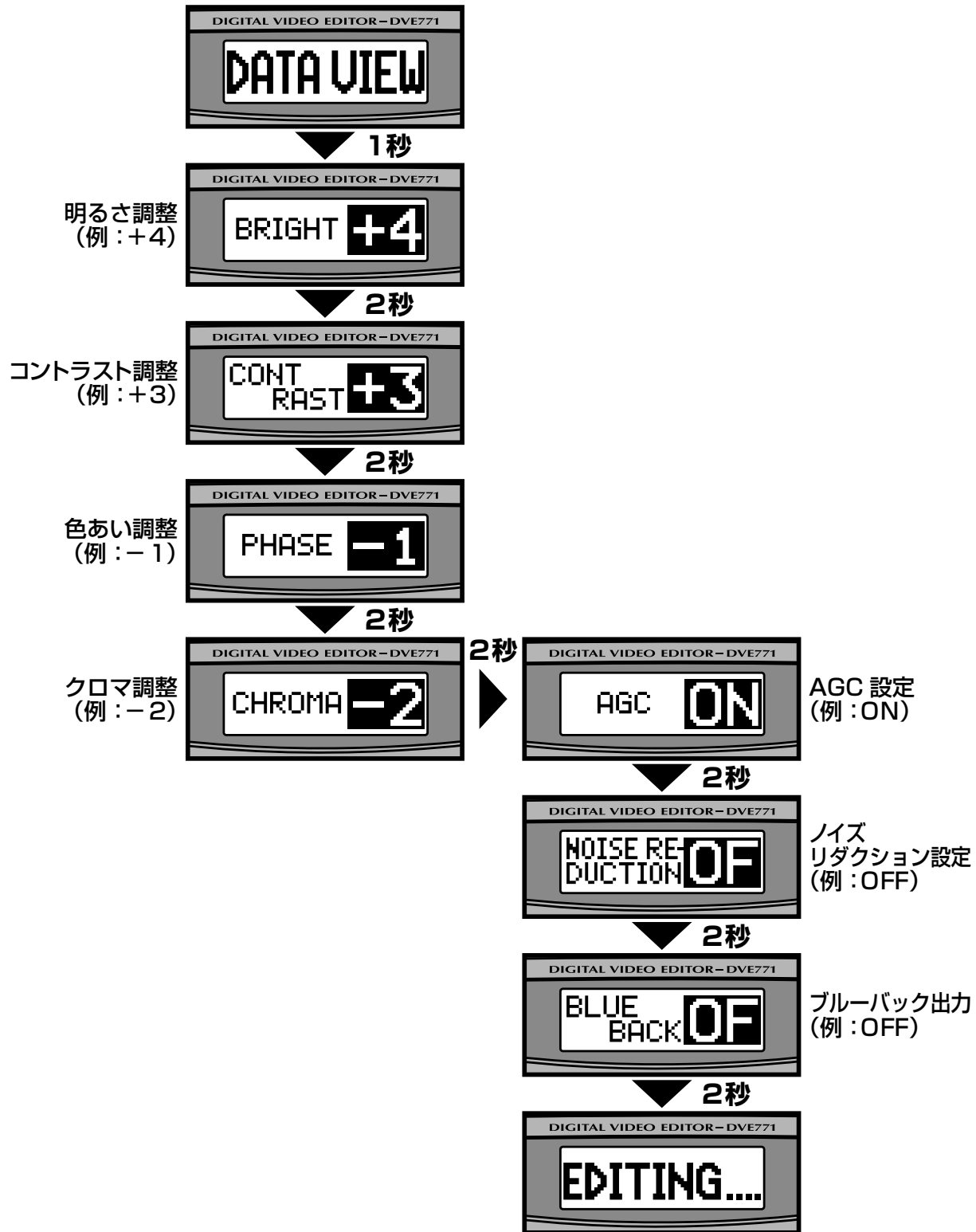


2 各設定値を順に表示する。項目が一巡すると通常表示に戻る。

- 効果：各設定値を確認できます。
- 使用用途：複数の設定を変更している場合でも、それぞれの設定値を簡単に確認できます。

！ワンポイント

- ・データビュー機能動作中に「ON/+[ON/+]ボタン」または「OFF/-[OFF/-]ボタン」を押すと、表示されている項目の設定を変更できます(データビュー機能は終了)。
- ・データビュー機能動作中に「MENU[メニュー]ボタン」を押すと、データビュー機能を終了させ、手でメニュー項目を移動できます。
- ・データビュー機能動作中にもう一度「MENU[メニュー]ボタン」を押すか、電源を切ると、データビュー機能は終了します。



ご使用方法・基本編・
ご使用方法・応用編・
ご使用方法・上級編・
接続の前に
接続のしかた・基本編・
接続のしかた・応用編・

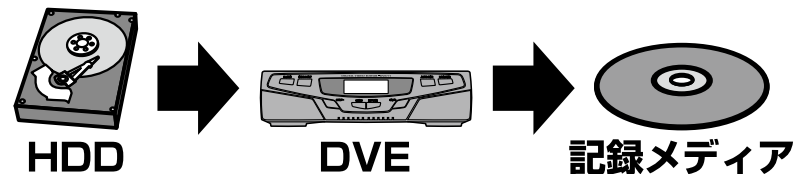
ご使用方法 - 上級編 -

■ ハイブリッドレコーダー1台で編集する

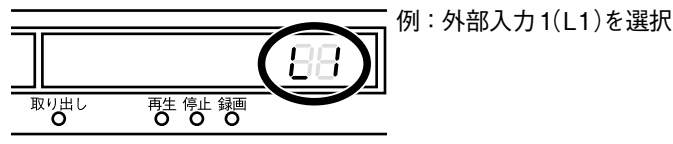
本機とハイブリッドレコーダーの接続方法 (P.45ページ)

◇ HDDに録画した1回録画(コピーワンス)番組などを記録メディア(DVD-Rなど)に録画する

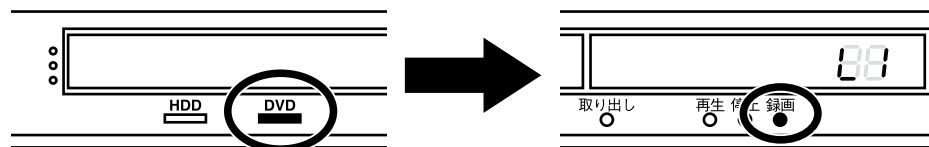
方法 1 HDDから出力した映像を、DVEを通して記録メディアに直接録画する。



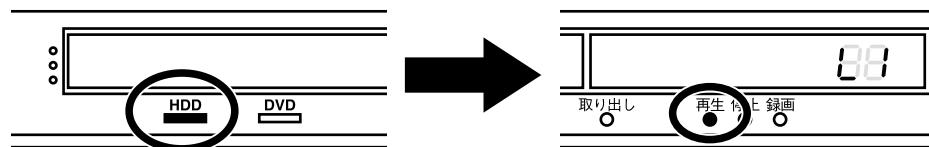
1 ハイブリッドレコーダーのチャンネルを外部入力(L1/L2など)に切り替える。



2 DVDを選択して、録画をスタートする。



3 HDDを選択したあと、番組一覧から録画したい番組を再生する。

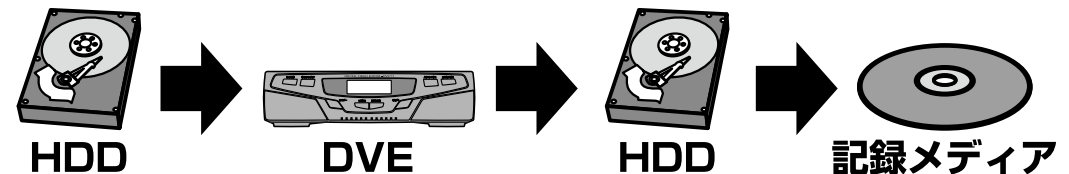


！ワンポイント

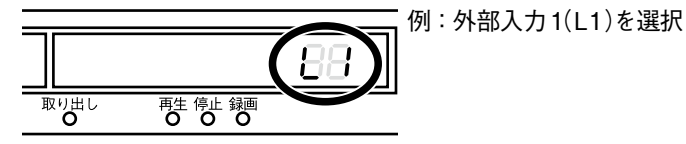
- 録画機器2台以上、または再生機器と録画機器をお持ちの場合は、「接続のしかた-基本編-」(P.39～44ページ)の接続によるご使用をお勧めします。
- 本機の接続方法は45～46ページをご参照ください。
- 再生と録画を同時におこなえないハイブリッドレコーダーの場合、上記方法は使用できません。
- 上記方法により、1回録画番組はムーブされずにそのままHDDに残ります。
- 外部出力及び外部入力の設定の切り替えは、ご使用のハイブリッドレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- 「ワンタッチ録画」「クイック録画」「高速ダビング」「U-LINEダビング」などはご使用になれません。 ※外部入力による等倍速ダビングとなります。
- 録画の前後はハウリングの影響で映像が乱れますが、本機の故障ではありません。

(方法1で録画できない場合にお試しください)

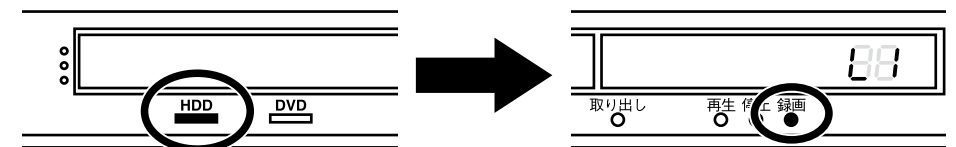
方法 2 HDDから出力した映像を、DVEを通してHDDに再録画し、再録画した番組を記録メディアに録画する。



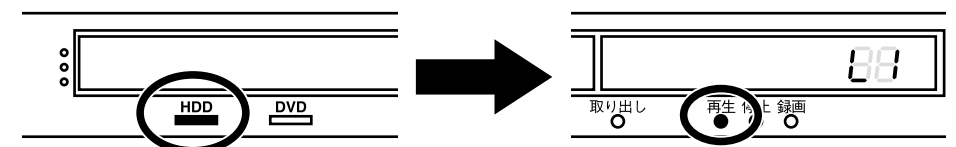
1 ハイブリッドレコーダーのチャンネルを外部入力(L1/L2など)に切り替える。



2 HDDを選択して、録画をスタートする。



3 番組一覧を表示させ、録画したい番組を再生する。



4 再録画した番組を、レコーダーの編集機能を使って通常通りダビングする。(DVEは通さない)

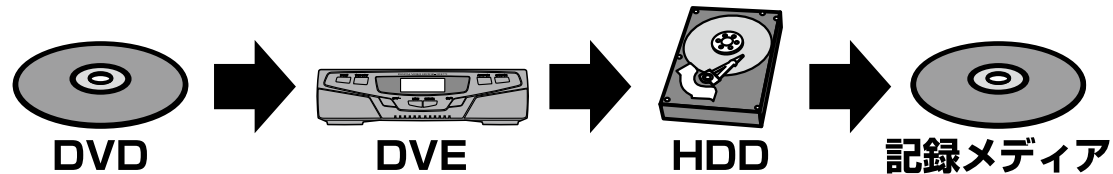
！ワンポイント

- 録画機器2台以上、または再生機器と録画機器をお持ちの場合は、「接続のしかた-基本編-」(P.39～44ページ)の接続によるご使用をお勧めします。
- 本機の接続方法は45～46ページをご参照ください。
- 再生と録画を同時におこなえないハイブリッドレコーダーの場合、上記方法は使用できません。
- 上記方法により、1回録画番組はムーブされずにそのままHDDに残ります。
- 外部出力及び外部入力の設定の切り替えは、ご使用のハイブリッドレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- HDD出力映像をHDDに再録画する(上記**1**～**3**)際に、「ワンタッチ録画」「クイック録画」「高速ダビング」「U-LINEダビング」などはご使用になれません。 ※外部入力による等倍速ダビングとなります。
- 録画の前後はハウリングの影響で映像が乱れますが、本機の故障ではありません。

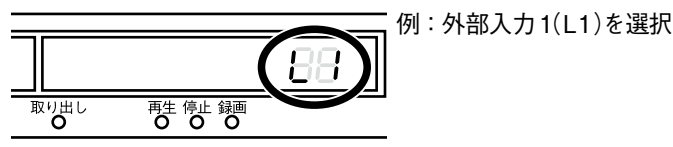
ご使用方法 - 上級編 -

■ ハイブリッドレコーダー1台で編集する

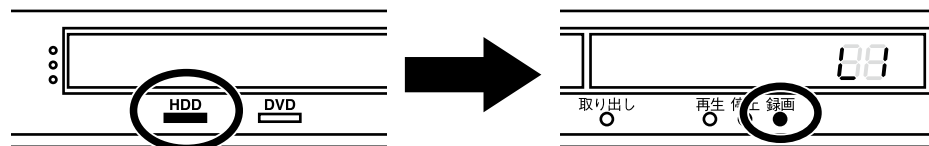
◇ DVDをHDDに録画したあと、記録メディア(DVD-Rなど)に録画する



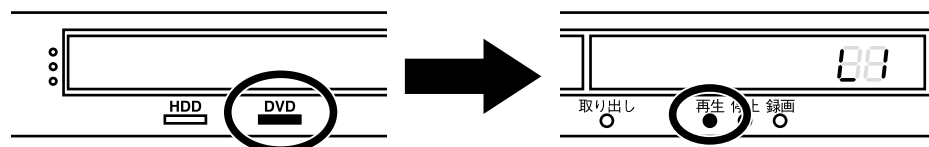
1 ハイブリッドレコーダーのチャンネルを外部入力(L1/L2など)に切り替える。



2 HDDを選択して、録画をスタートする。



3 DVDを選択して、録画したいDVDを再生する。



4 録画した番組を、レコーダーの編集機能を使って通常通りダビングする。(DVEは通さない)

! ワンポイント

- 録画機器2台以上、または再生機器と録画機器をお持ちの場合は、「接続のしかた-基本編-」(P.39~44ページ)の接続によるご使用をお勧めします。
- 本機の接続方法は45~46ページをご参照ください。
- 再生と録画を同時におこなえないハイブリッドレコーダーの場合、上記方法は使用できません。
- 外部出力及び外部入力の設定の切り替えは、ご使用のハイブリッドレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- DVDをHDDに録画する(上記**1**~**3**)際に、「ワンタッチ録画」「クイック録画」「高速ダビング」「U-LINEダビング」などはご使用になれません。※外部入力による等倍速ダビングとなります。
- 録画の前後はハウリングの影響で映像が乱れますが、本機の故障ではありません。

■ 全ての設定を初期値に戻す

全ての設定を初期値(工場出荷時の状態)に戻すことができます。

- 1** MAIN PWR[電源]ボタンを操作して、電源を切る。(P.9ページ)
- 2** D.VIEWボタンを押しながらMAIN PWRボタンを押すと、「RESET」が点滅する。そのまま3秒以上*押し続けると点滅が点灯に変わり、全て初期状態に戻る。*リセット表示が点滅から点灯に変わる前に操作を中止すると、リセットされません。



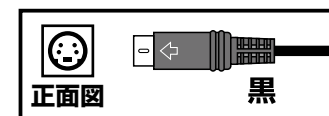
! ワンポイント

- リモコンではリセット操作できません。
- リセット表示が点滅から点灯に変わる前に操作を中止すると、リセットされません。

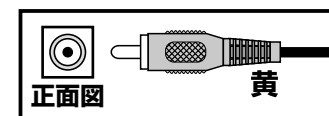
接続の前に

■ 接続に使用する端子の種類

本機と再生機器 / 録画機器を接続するために必要な端子例です。

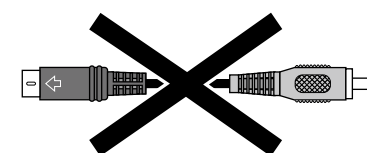


S端子(黒)：映像用
映像接続用の端子です。ピン端子と比べ、より高画質な映像を楽しめます。(1本同梱されています)



ピン端子(黄)：映像用
映像接続用の端子です。(1本同梱されています)

当社製映像ケーブルDVE002は
使用できません

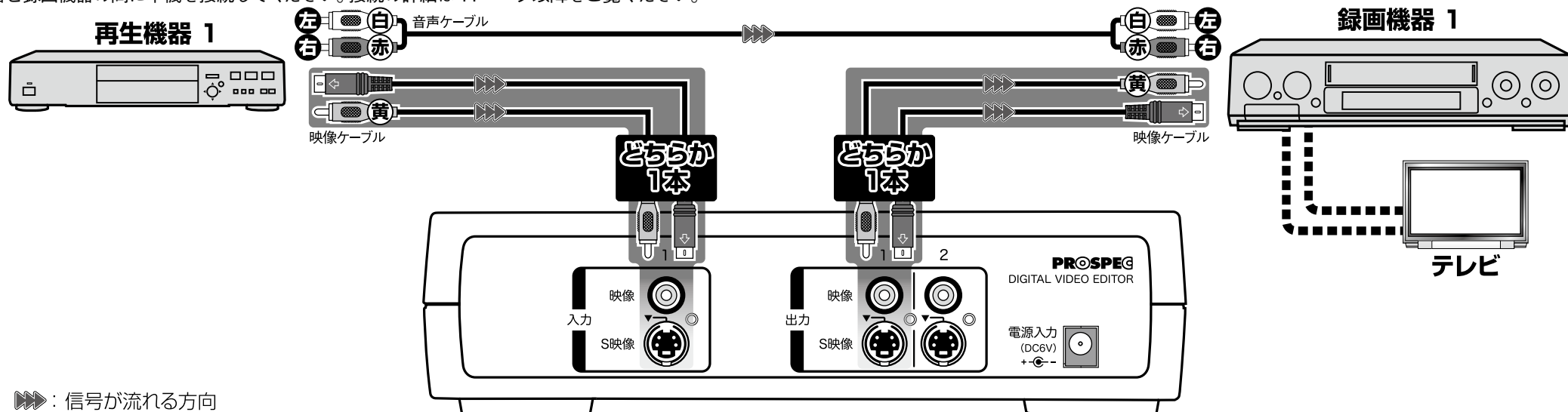


接続のしかた - 基本編 -

■ 接続概要図

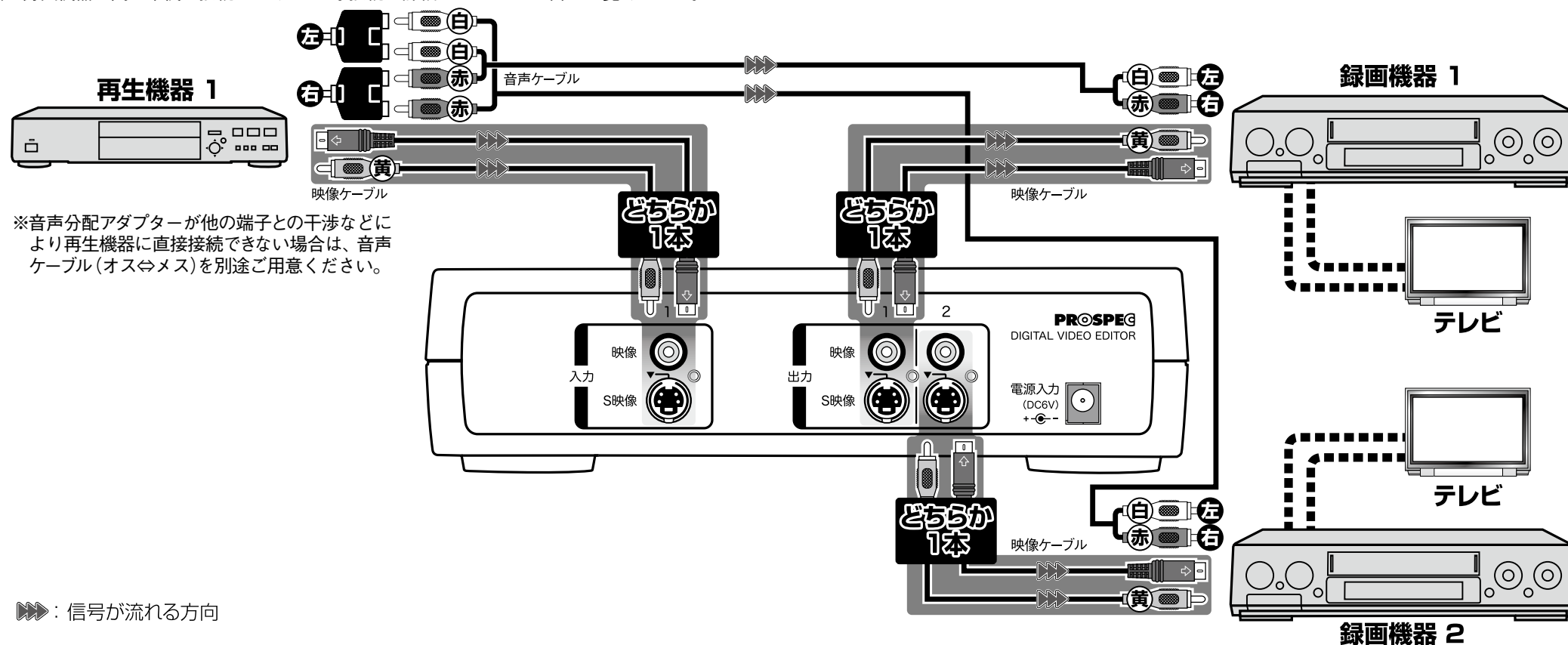
◇ 出力を1系統のみ使用する場合

下図のように再生機器と録画機器の間に本機を接続してください。接続の詳細は41ページ以降をご覧ください。



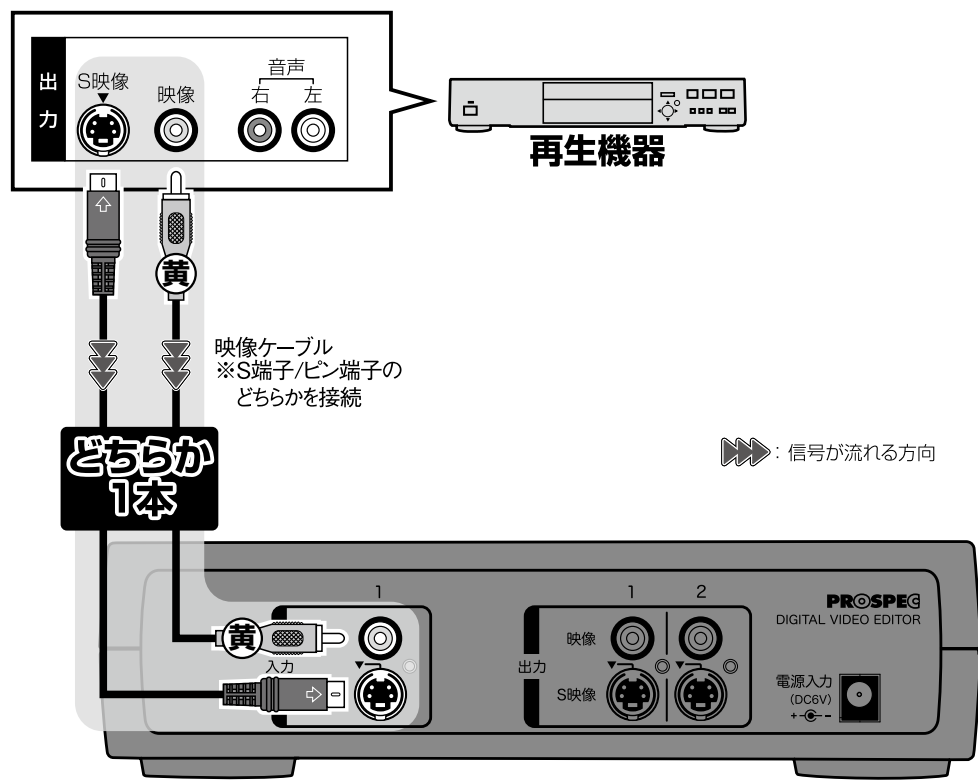
◇ 出力を2系統使用する場合

下図のように再生機器と録画機器の間に本機を接続してください。接続の詳細は41ページ以降をご覧ください。



接続のしかた -基本編-

再生機器と本機の映像を接続する



再生機器の映像を「入力 1」へ接続する。

映像ケーブルをどちらか1本接続します。
映像ケーブルは S 端子/ピン端子どちらも対応しています。

※入力端子と出力端子で、S端子ケーブルとピン端子ケーブルの混合接続が可能です。それぞれの組み合わせによる画質レベルは下表のとおりです。

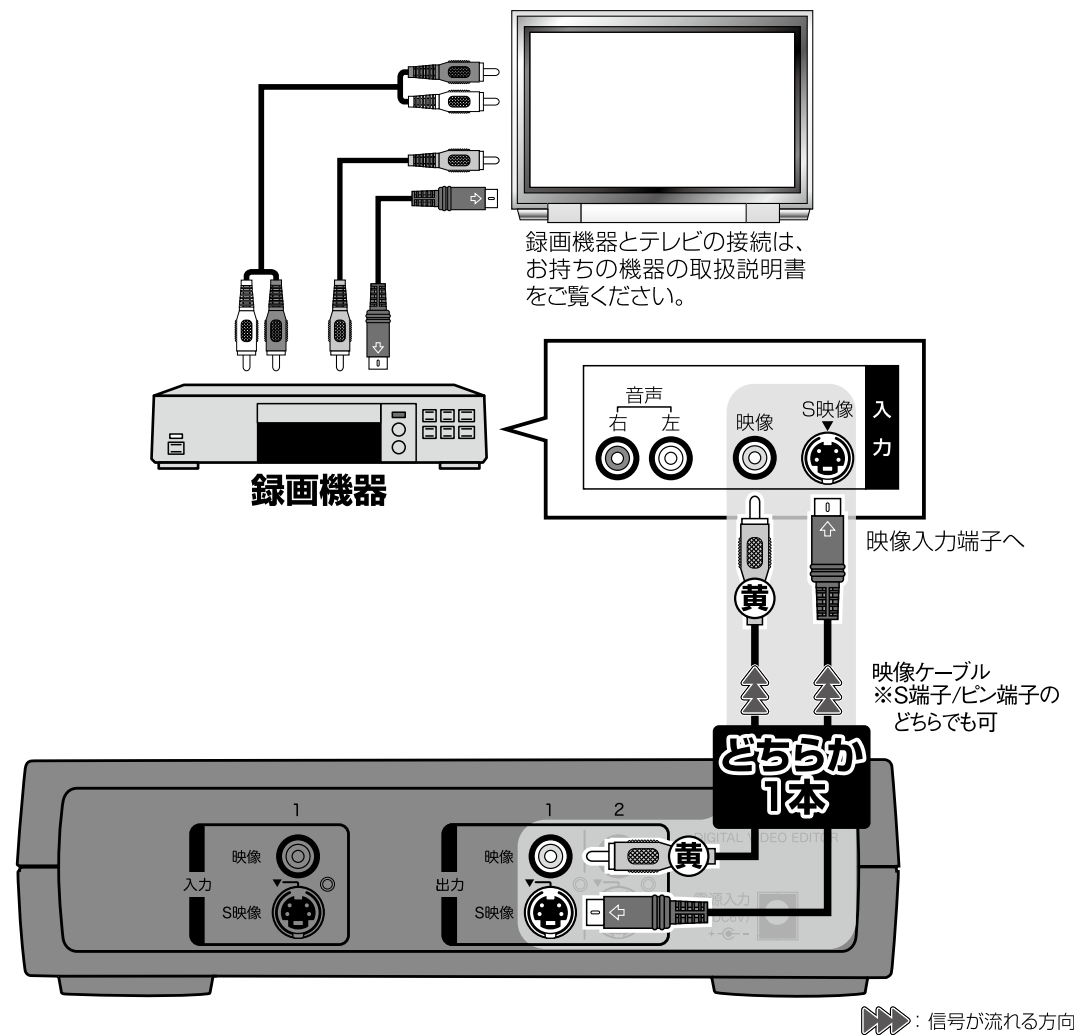
再生機器側のケーブル	DVE771	録画機器側のケーブル	画質
① S端子	入力 出力	S端子	↑ 高
② S端子	入力 出力	ピン端子	
③ ピン端子	入力 出力	S端子	↓ 低
④ ピン端子	入力 出力	ピン端子	

ワイド識別信号について

①③の場合はS1/S2/ID-1の出力が可能です。②④の場合はID-1のみ出力が可能です。

重要 再生機器・録画機器の一方または両方も「ワイド識別信号非対応」機器の場合、ワイド識別信号に対応した使用ができない場合があります。

本機と録画機器の映像を接続する



録画機器を「出力 1」または「出力 2」へ接続する（上図は「出力 1」接続例）。

映像ケーブルを接続します。
映像ケーブルは S 端子/ピン端子どちらも対応しています。

！ワンポイント

- ・入力系統にS端子ケーブル/ピン端子ケーブルを両方同時に差し込んだ場合は、S端子ケーブル側の機器の電源の入切にかかわらず、S端子ケーブルが優先されます。
※本機の電源が入っている状態でケーブルの差し替えや追加接続をおこなうと、場合によっては接続ケーブルを正しく認識できません。よって接続ケーブルの追加や変更をおこなう際は、一度本機の電源をお切りください。
- ・1つの出力系統にS端子ケーブル/ピン端子ケーブルを同時に接続した場合は、すべて同時に映像が出力されます。
- ・映像信号を入力しているケーブルと出力しているケーブルの種類が異なる場合*は、映像がスルーされません。
(P.6ページ)

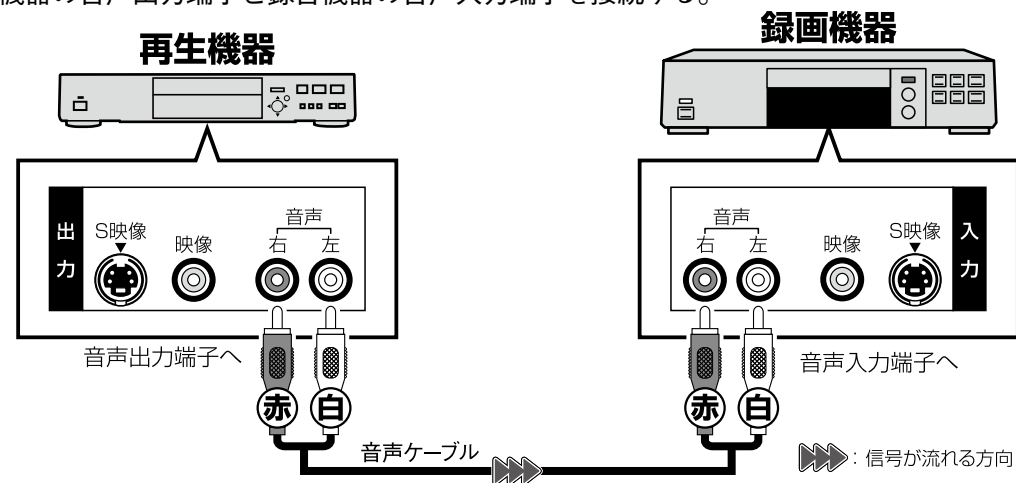
*入力側ピン端子ケーブルに対して出力側S端子ケーブル、入力側S端子ケーブルに対して出力側ピン端子ケーブル

接続のしかた - 基本編 -

再生機器と録画機器の音声を接続する

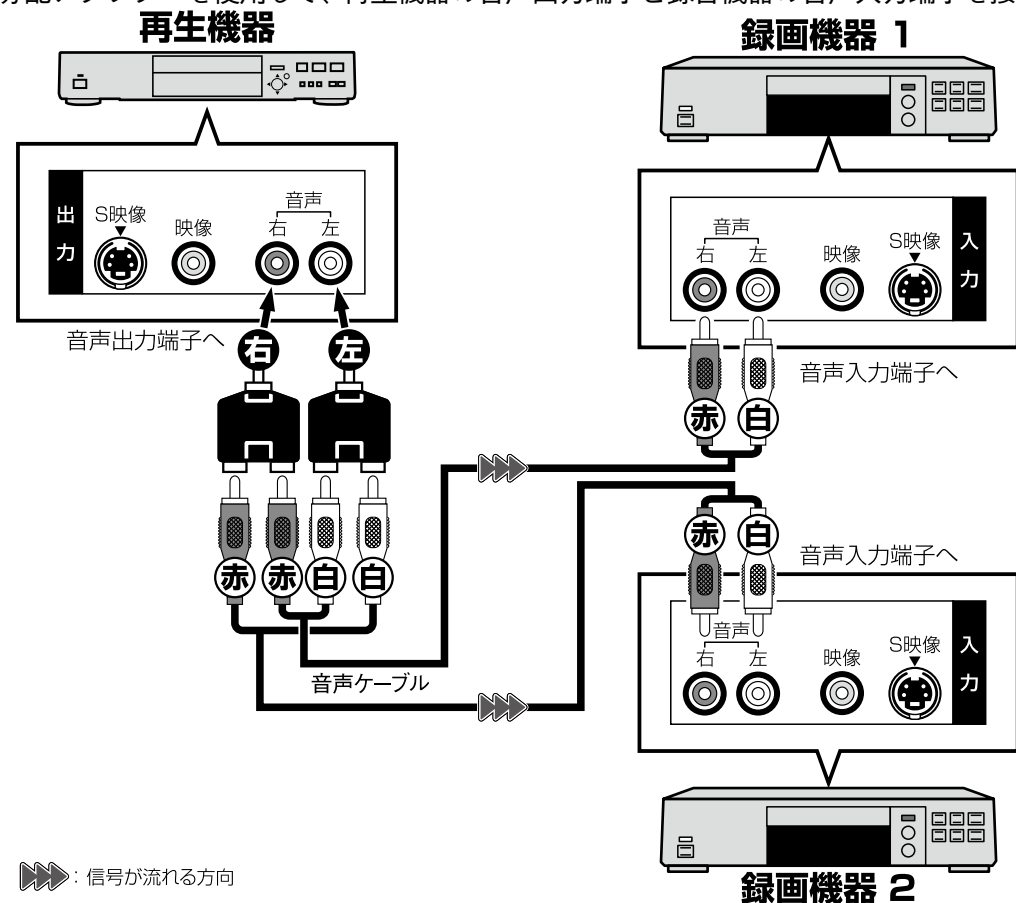
◇出力を1系統のみ使用する場合

再生機器の音声出力端子と録音機器の音声入力端子を接続する。

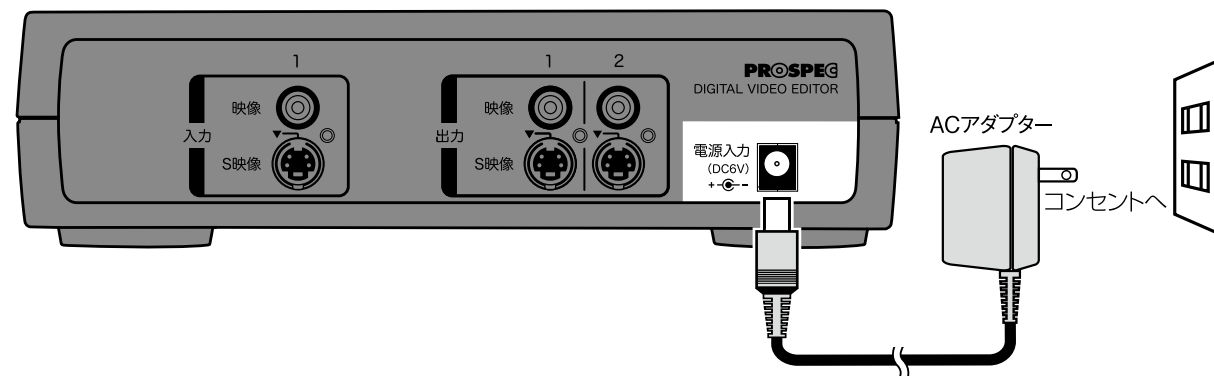


◇出力を2系統使用する場合

音声分配アダプターを使用して、再生機器の音声出力端子と録音機器の音声入力端子を接続する。



電源を接続する



付属のACアダプターを「電源入力」、コンセントへ接続する。

! ワンポイント

・壁に据付けのコンセント (AC100V) をご使用ください。



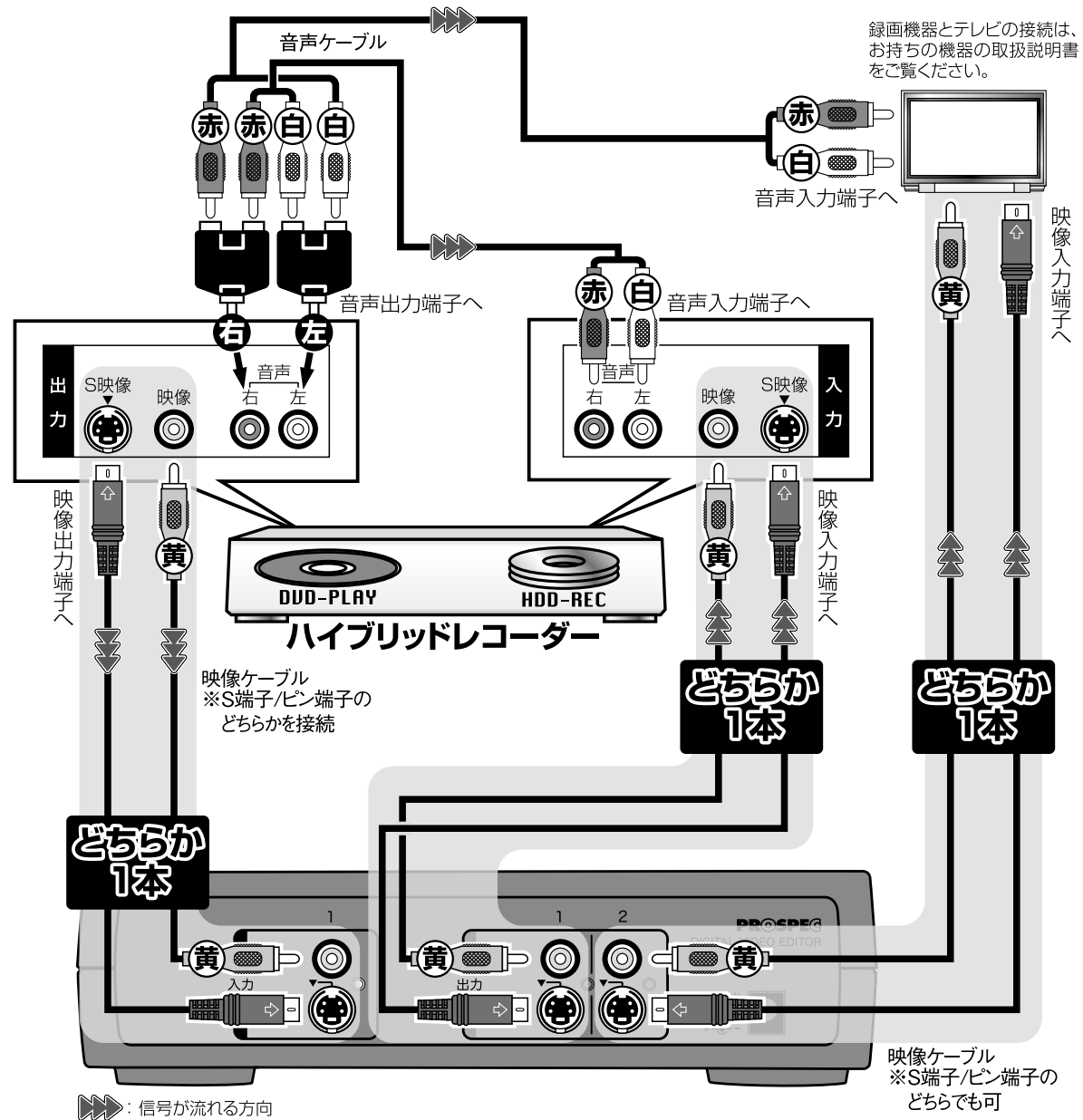
付属のACアダプター以外は絶対に使用しないでください。

接続のしかた - 応用編 -

■ ハイブリッドレコーダーへの接続

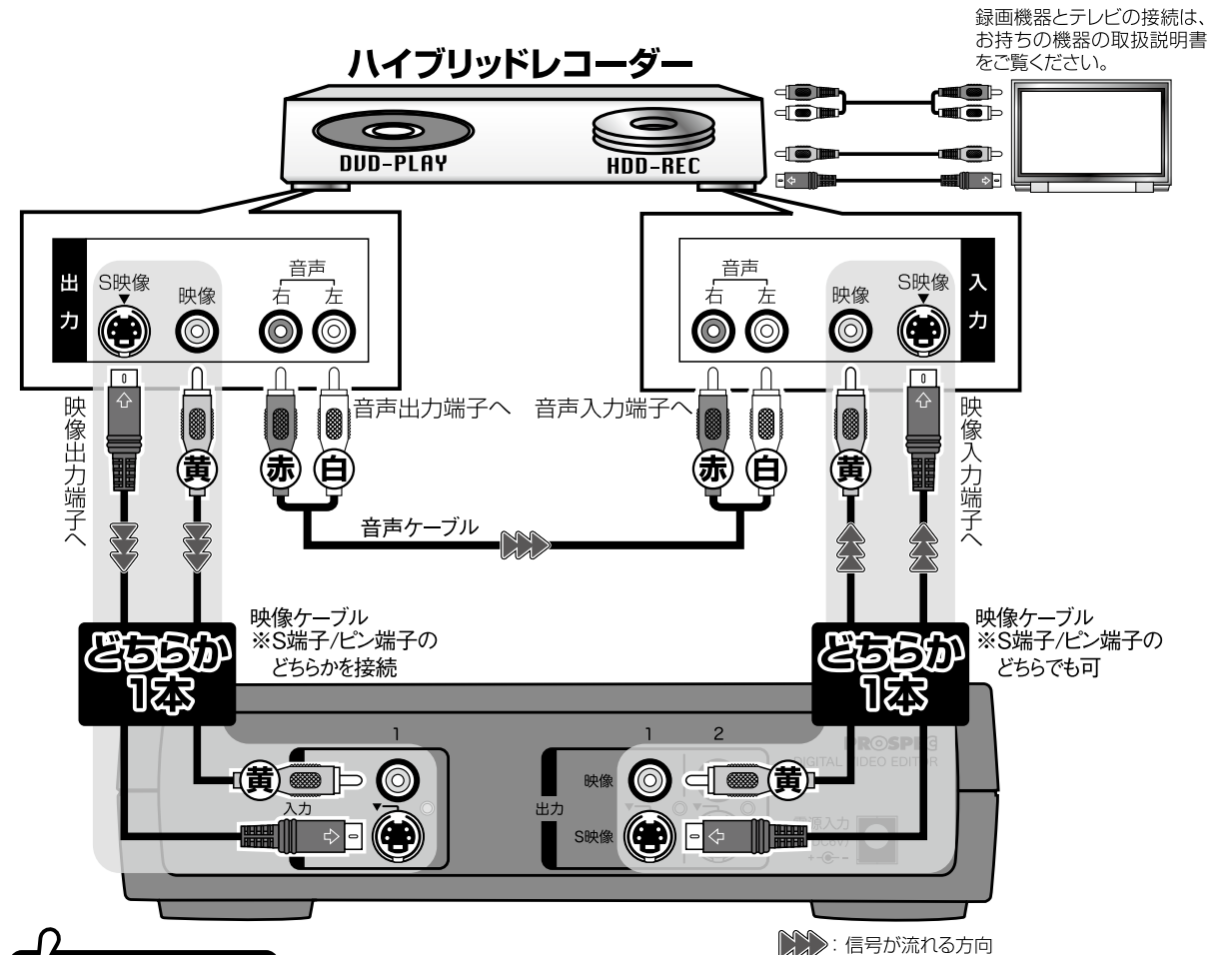
ハイブリッドレコーダー（HDD&DVD 一体型機など）1台のみでDVDを再生して、HDDに一度記録してからDVD-R/RW/RAMなどに記録できます。

◇ レコーダーにビデオ出力が1系統のみ装備されている場合



※ ハイブリッドレコーダー：ハードディスクとDVDなど録画メディアが複数ある機器

◇ レコーダーにビデオ出力が2系統以上装備されている場合



！ワンポイント

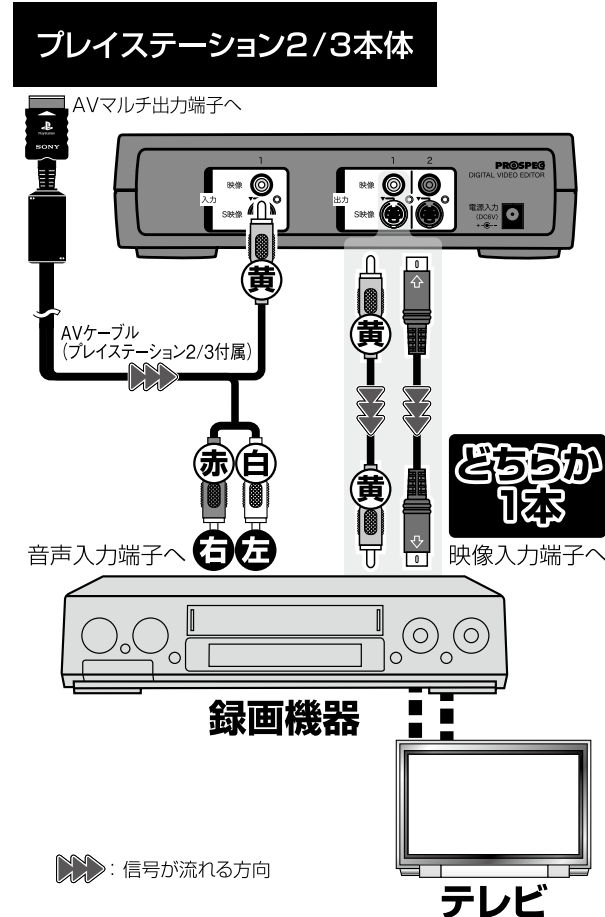
- 録画機器2台以上、または再生機器と録画機器をお持ちの場合は、「接続のしかた - 基本編 -」(P.39～44ページ)の接続によるご使用をお薦めします。
- 再生と録画を同時におこなえないハイブリッドレコーダーの場合、上記及び45ページの接続による使用はできません。再生機器または録画機器を別途1台用意して、「接続のしかた - 基本編 -」(P.41ページ)の方法で接続してください。
- 上記の方法で接続した場合、ハイブリッドレコーダーに接続しているテレビに映る映像はDVDの再生映像です。本機の回路を通した映像ではありません。本機の回路を通した映像を見る場合は、45ページの方法で接続してください。
- 編集方法は「ご使用方法 - 上級編 -」(P.35～37ページ)をご覧ください。
- 外部出力及び外部入力の設定の切り替えは、ご使用のハイブリッドレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- 「ワンタッチ録画」「クイック録画」「高速ダビング」「U-LINEダビング」などはご使用になれません。 ※外部入力による等倍速ダビングとなります。
- 録画の前後はハウリングの影響で映像が乱れますが、本機の故障ではありません。

接続のしかた - 応用編 -

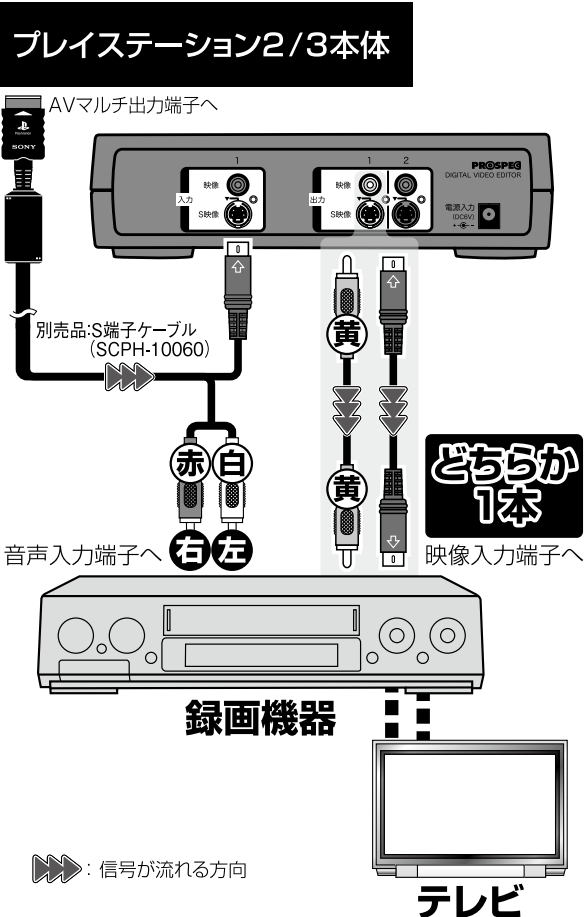
■ プレイステーション2/3への接続

プレイステーション2または3を再生機器として使用できます。(株)ソニー・コンピュータエンタテインメントより発売されているS端子ケーブル(SCPH-10060)を使用すると、より高画質な映像を楽しめます。お近くのソニー製品販売店などでお買い求めください。

プレイステーション2/3本体に付属のAVケーブルを使用する場合



S端子ケーブル (SCPH-10060)を使用する場合



(上図は「出力1」接続例)

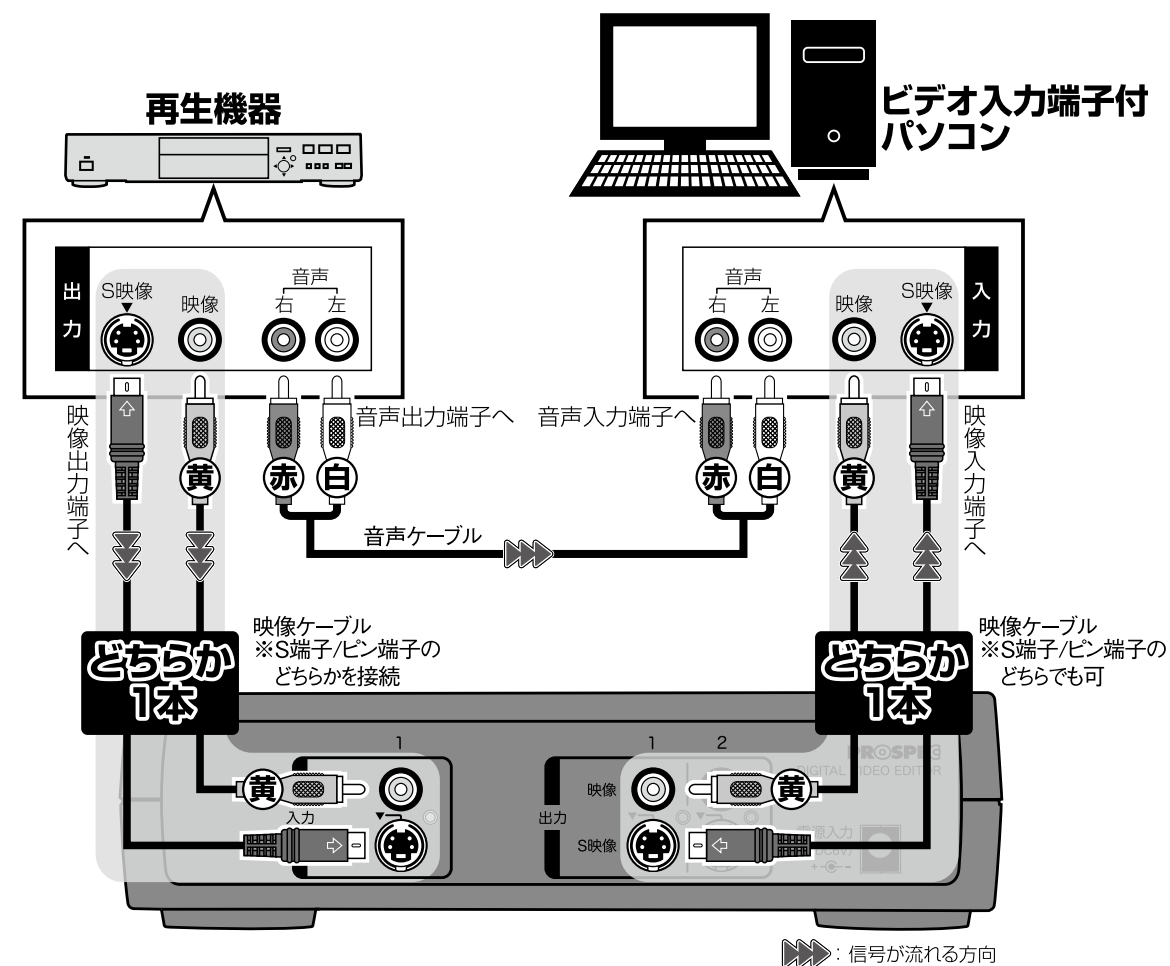
録画機器の接続方法は、お手持ちの機器の取扱説明書をご覧ください。

! ワンポイント

- ・入力系統にS端子ケーブル/ピン端子ケーブルを両方同時に差し込んだ場合は、S端子ケーブル側の機器の電源の入切にかかわらず、S端子ケーブルが優先されます。
※本機の電源が入っている状態でケーブルの差し替えや追加接続をおこなうと、場合によっては接続ケーブルを正しく認識できません。よって接続ケーブルの追加や変更をおこなう際は、一度本機の電源をお切りください。
- ・プレイステーション2またはプレイステーション3は、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。

■ ビデオ入力端子のあるパソコンへの接続

ビデオ入力端子を装備しているパソコンをお持ちの場合、本機で編集した映像/音声をパソコンに取り込むことができます。※別途編集用のソフトを必要とする場合があります。



(上図は「出力1」接続例)

●パソコン側の入力ジャックの形状によっては、ケーブルが上図のものと異なる場合があります。

! ワンポイント

- ・入力系統にS端子ケーブル/ピン端子ケーブルを両方同時に差し込んだ場合は、S端子ケーブル側の機器の電源の入切にかかわらず、S端子ケーブルが優先されます。
※本機の電源が入っている状態でケーブルの差し替えや追加接続をおこなうと、場合によっては接続ケーブルを正しく認識できません。よって接続ケーブルの追加や変更をおこなう際は、一度本機の電源をお切りください。

故障かな?と思ったら

■ 使用中のトラブルと回避方法

電源ボタンを押しても電源が切れない

- 電源ボタンを2秒以上押してください(▶5ページ)。

ワイド映像(16:9)が縦長(4:3)に映る

- 録画機器及びテレビがワイド識別信号に対応しているかご確認ください。また、録画機器の長時間記録モード使用時や、記録メディアの種類(CPRM非対応のDVD-R使用時など)によっては、ワイド識別信号が記録されない場合があります。詳しくは録画機器の取扱説明書をご参照ください。

映像に波がでる

- 付属品以外のACアダプターを使用していると発生する場合があります。付属品以外のACアダプターは本機の故障の原因となりますので絶対に使用しないでください。
- 1つのテーブルタップに他の機器と合わせて接続していると発生する場合があります。ACアダプターはできるだけコンセントに直接接続してください。
- 一部の接続機器(チューナー等)との相性により発生する場合があります。弊社にご相談ください。

映像の色が不自然に薄くなる、変色する、全体的に緑色または赤色っぽくなる

- 再生機器または録画機器のTBC機能がONになっていると発生する場合があります(TBC機能を有する場合)。再生機器または録画機器のTBC機能をOFFにしてください。
- 再生機器または録画機器のDNR(デジタルノイズリダクション)機能がONになっていると発生する場合があります(DNR機能を有する場合)。再生機器または録画機器のDNR機能をOFFにしてください。

映像がブレる

- 再生機器または録画機器のDNR(デジタルノイズリダクション)機能がONになっていると発生する場合があります(DNR機能を有する場合)。再生機器または録画機器のDNR機能をOFFにしてください。

ビデオデッキ(アナログソース)側で一時停止やスロー再生(特殊効果)をおこなうと、乱れた映像が出力される

- アナログソースに特殊効果を加えて本機の回路を通して出力すると、映像が乱れて出力される場合があります。このような場合は本機の電源を切ってください(▶5ページ)。

ビデオキャプチャーを使用し、本機の電源を入れると画面下の映像が消える

- 画面下の映像は処理上カットしていますので故障ではありません。なお、カットされている部分は通常のテレビモニターでは表示されません。

DVD-RWには直接録画できるが、DVD-Rには直接録画ができない

- 一部のHDD内蔵DVDレコーダーは、仕様により特定のメディアを使用しての直接録画ができない場合があります。その場合は、一旦HDDに録画してからHDD→DVD-Rへ録画してください。なお、これは本機が原因で起こるものではありません。詳しくはレコーダーの取扱説明書をご参照ください。

ハイブリッドレコーダー1台で編集した映像に字幕が映らない

- テレビをHDMIケーブルまたはD端子ケーブルで接続している場合に発生する可能性があります。テレビとの接続をS端子ケーブルまたはピン端子ケーブルに変更してください。

■ Q&A

本製品全般

Question	Answer
ピン端子で映像を入力しても、DVEが認識しない。(ディスプレイに「DVE」が表示される)	本機の入力端子にS端子とピン端子を両方差し込んでいませんか? S端子を差し込むと、S端子を優先して認識します。
映像信号が入力されると録画が開始される録画機器で、タイマー録画をおこなうには?	オートパワー設定を「ON」にしてください(▶29ページ)。
レンタルビデオや経年劣化したビデオ(共にVHS)を編集する際の注意点は?	レンタルビデオは再生する頻度が高く、テープ自体が劣化(傷んでいる)可能性がありますので、経年劣化したテープと同様に本機では補正しきれない場合があります。補正できないときは、映像にノイズとして現れます。
誤って本体に衝撃を加えてしまった、または本体に異物が入ったり水に濡れてしまった場合は?	直ちにACアダプターをコンセントから外し、当社に点検・修理依頼をしてください。
リモコンの電池交換時期は?	使用頻度により交換時期が異なります。明らかに反応が悪くなったときに交換時期です。
本機に接続した再生機器及び録画機器の操作方法は?	各機器に付属している取扱説明書をお読みいただくか、各機器の製造メーカーのサービスセンターにお問い合わせください。
デジタル放送録画時に入る、画面の両端や上下左右の黒帯を削除できますか?	放送局側で黒帯の映像を入れている為、削除できません。

レコーダー/プレーヤー全般

Question	Answer
ハイブリッドレコーダー1台で編集する際、乱れた映像が表示されますが、故障ですか?	ループ接続による副作用(ハウリング)ですので、故障ではありません。再生スタートと同時に正常な映像に戻ります。
ハイブリッドレコーダー1台で編集する際、色あいや明るさなど、調整した映像が画面で確認できないのですが?	本機の空いている出力端子を直接テレビに接続すると、本機の出力映像を確認できます。
地デジチューナー内蔵のハイブリッドレコーダーで、取扱説明書通りに接続しても編集ができない(外部入力にしても映像が表示されない)。	地デジチューナー内蔵ハイブリッドレコーダーの録画方式をデジタルハイビジョン方式(TS方式/AVCREC方式/DR方式)に設定していると、レコーダーがアナログ入力を受け付けない場合があります。アナログ標準録画方式(VR方式)に切り替えてご使用ください。
画面に映像が表示されません。	一部機種では、HDMI端子やD端子(1080p)で接続していると、S端子やピン端子から映像が出力されないことがあります。その場合は、ハイビジョンレコーダー側のS端子/ピン端子とテレビを直接接続し、映像が出力されるか確認してください。映像が出力されない場合は、ハイビジョンレコーダー側の「映像出力設定」を変更するか、別の再生機をご用意ください。



PROSPEG 株式会社プロスペック

<http://www.prospec.co.jp/>

〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-18-2 TEL.03-5369-2791

検査・修理のお問い合わせは

倉敷支社(月～金曜日 AM10:00～PM12:00 PM1:00～PM5:30 土日祝祭日を除く)

〒712-8061 岡山県倉敷市神田 1-1-11 TEL.086-445-1509

※ コレクトコールによるお問い合わせは受付致しかねます。予めご了承下さい。

ご注意：当社に無断で当取扱説明書の内容、図、写真の全部または一部の複製(コピー)・転用・転載を禁じます。

DVE771-0902-YUM-SP11000